

**各市町村（圏域）の地域生活支援拠点等の
機能・運用状況等について**

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
<p>障がいのある方の地域生活を支援する多様な機能を集約した地域生活支援拠点を整備します。 本市では、障がい者の高齢化・重度化、その家族の高齢化や「親亡き後」等を見据えて、地域における居住支援の機能（相談、体験の機会・場の提供、緊急時の受入れ・対応、地域の体制づくり等）の強化に取り組みます。 また、本市が業務を委託する「熊本市障がい者相談支援センター」を地域生活支援拠点の中核として位置づけ、地域の関係機関等との連携強化に向けた取組等を推進します。</p>	

目標値	第7期障害福祉計画 (令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
9カ所	年1回	年1回	年1回	

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児（強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等）の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	要支援者の事前把握の方法等について検討を行っていく。	現時点では要支援者の事前把握はできていないが、必要に応じて関係機関と連携を図りながら対応を行っている。	現時点では要支援者の事前把握はできていないが、必要に応じて関係機関と連携を図りながら対応を行う。	現時点では要支援者の事前把握はできていないが、必要に応じて関係機関と連携を図りながら対応を行う。
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会務体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択☑ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択☑ 一定程度できている		
	様式2の評価の評価を踏まえて評価すること	様式2の評価の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
障がい者相談支援センターにて、要支援者の事前把握は少しずつ行っているが、その体制については課題が残る。	特に意見なし			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）			
障がい者相談支援センターをはじめ、関係機関、協議会等と連携を図り、要支援者の事前把握や体制整備について検討を進める。	特に意見なし			

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	熊本市障がい者相談支援センターに機能強化員を配置し、専門性を確保することで地域の相談体制を充実させる。	熊本市障がい者相談支援センターの相談体制を継続する。	熊本市障がい者相談支援センターの相談体制を継続する。	熊本市障がい者相談支援センターの相談体制を継続する。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 十分できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 十分できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
熊本市障がい者相談支援センターでは、各センターに相談支援機能強化員を1名ずつ配置し、地域における困難ケースへの対応や、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談、その他必要な支援を行っており、継続した支援体制が構築できている。		特に意見なし		
今後の対応等（自由記述） 熊本市障がい者相談支援センターの体制を維持しつつも、月1回開催する相談支援機能強化員会議の中で、複雑・困難ケースへの対応をはじめとして、情報の共有を行いながら、センターの連携体制の強化やスキルアップを図る。		特に意見なし		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	・緊急時の受入対応ができるサービス施設の確保（施設との協定締結の検討） ・緊急時の受入の際の手順の作成 ・サービス施設以外での受け入れ先の確保を検討	緊急時の受入対応についてどのような体制が必要か協議を行った。	・緊急時の受入対応ができるサービス施設の確保（施設との協定締結の検討） ・緊急時の受入の際の手順の作成 ・サービス施設以外での受け入れ先の確保を検討	・緊急時の受入対応ができるサービス施設の確保（施設との協定締結の検討） ・緊急時の受入の際の手順の作成 ・サービス施設以外での受け入れ先の確保を検討
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
緊急時の受け入れについては、その都度サービス施設と連携を図って対応しているが、事前の情報整理等が行えていないことから、受け入れ先を確保することが容易ではない状況。		短期入所やグループホームの活用も含めて検討を進めてほしい。		
今後の対応等（自由記述） 平時より、緊急時に備えた環境整備の構築と、緊急時の対応についてのフロー図の整理、施設（グループホーム等含む）との協定締結等も含め、恒常的な緊急時の受け入れ体制の構築を進める。		短期入所やグループホームの活用も含めて検討を進めてほしい。		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
		障がい者自立支援協議会の地域移行支援部会等の活動を通して、地域移行のニーズを把握するとともに、関係機関との連携を図っていく。	協議の場を定期的に確保し地域移行支援について協議と検討を行った。また、ピアサポートも活用しながら体制の強化と充実を図った。	協議の場を定期的に確保し地域移行支援について協議と検討を継続する。また、ピアサポートも活用しながら体制の強化と充実を図る。
	コメンタリー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会連体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	協議の場を定期的に確保し地域移行支援について協議と検討を行っている。ピアサポートも活用しながら体制の強化と充実を図っている。		特に意見なし	
	今後の対応等（自由記述） 地域の実情に応じた対応を検討し取組を検討していく。また普及啓発活動を継続し、地域の受け入れ体制の整備を目指す。		今後の対応等（自由記述） 特に意見なし	
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	・GHの空き情報の見える化を図って、関係機関で情報把握できる環境を整える。 ・体験の機会・場を提供できるGHを確保	・GHの情報収集及び情報発信サイトの住まいプラグ（KP5000）の活用を検討を行った。 ・GH交流会を実施し、連携の機会を作った。	・住まいプラグを活用し、体験利用の可否について見える化する。 ・GH交流会等を通して、GH同士の横の連携を作るとともに、体験の機会、場の確保を進める。	・住まいプラグを活用し、体験利用の可否について見える化する。 ・GH交流会等を通して、GH同士の横の連携を作るとともに、体験の機会、場の確保を進める。
	コメンタリー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会連体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	これまでGH同士の横のつながりが少なかったことを考慮し、GH交流会を実施し、横の連携を機会を作った。		地域で暮らす場にもどのような課題があるのか、しっかりとした議論を行ってほしい。	
	今後の対応等（自由記述） GHの空き情報の見える化を図って体験利用に繋げるため、情報発信サイトの住まいプラグの活用を進めていく。また、GH交流会等を通じて、事業所間のネットワークづくりを行い、体験の機会・場を提供できる事業所の確保を目指していく。		今後の対応等（自由記述） 地域で暮らす場にもどのような課題があるのか、しっかりとした議論を行ってほしい。	

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員のスキルアップ 医療的ケア児等コーディネーターの養成 障害児通所支援事業所の支援者のスキルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的人材を養成するための各種研修等の学ぶ機会を作った。 相談支援専門員のスキルアップ 医療的ケア児等コーディネーターの養成 障害児通所支援事業所の支援者のスキルアップ等 	引き続き、専門的人材を養成するための各種研修等を実施する。	引き続き、専門的人材を養成するための各種研修等を実施する。
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会識体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
各区の相談支援ネットワーク会議や相談支援部会等において、相談支援専門員の専門的な知識の向上を図っている。また、熊本市障がい者相談支援センターに新たに医療的ケア児コーディネーターを配置するとともに、医療的ケア児の支援に必要な知識を習得するための養成研修やコーディネーターの意見交換会を実施している。さらに、児童発達支援センター機能強化事業を通じて、障害児通所支援事業所の支援者のスキルアップを図るための研修等を行っている。		特に意見なし		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
地域づくり、人材育成、困難事例への対応など地域の中核的な役割を担う主任専門相談員の配置を増やしていく。また、これまでの取組内容を継続して実施していく。		特に意見なし		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	熊本市障がい者相談支援センターに地域支援員を配置し、地域の支援体制を充実させる。また、児童発達支援センター機能強化事業により、地域課題に対する対応を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 熊本市障がい者相談支援センターの地域支援体制を継続する。 児童発達支援センター機能強化事業（南区、東区、北区）を継続する。 	熊本市障がい者相談支援センターの地域支援体制を継続する。	熊本市障がい者相談支援センターの地域支援体制を継続する。
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会識体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
熊本市障がい者相談支援センターでは、各センターに地域支援員を1名ずつ配置し、ささえりあや民生委員等の地域の様々な関係機関とのネットワークの構築及び連携を図るとともに、地域の社会資源の整理等を行うことができている。児童発達支援センター機能強化事業については、現在、中央区、西区において実施できていないため、今後、事業の拡充について検討が必要。		特に意見なし		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
児童発達支援センター機能強化事業について、市内全域に拡充が行えるよう検討を進める。		特に意見なし		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	拠点等の運営状況について、本市 の障がい者自立支援協議会の中で 年1回報告を行うものとする。	本市の障がい者自立支援協議会 の中で進捗状況の報告を実施し、市 のホームページで公開している。	本市の障がい者自立支援協議会 の中で進捗状況の報告を実施し、市 のホームページで公開する。	本市の障がい者自立支援協議会 の中で進捗状況の報告を実施し、市 のホームページで公開する。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会員に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
拠点等の運営状況については、年1回本市の障がい者自立支援協議会 の中で進捗状況の報告を実施し、市のホームページで公開してい る。		特に意見なし		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
引き続き、拠点等の運営状況について年1回障がい者自立支援協議会 の中で報告を行うとともに、関係機関との連携体制の構築を進め る。		特に意見なし		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	-		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	46人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）			
目標達成のための方策	障がい者の状況や希望を踏まえ、ライフステージ全体で切れ目のない住まいの支援が行われるよう適切なサービスの支給や住まいの確保に努める。また、施設整備助成による日中サービス支援型グループホームの拡充や、自立生活援助への事業所の新規参入や利用促進を図る。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）			
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）			

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	761人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	39人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割合（B/A）	5.1%		
目標達成のための方策	障がい者の状況や希望を踏まえ、ライフステージ全体で切れ目のない住まいの支援が行われるよう適切なサービスの支給や住まいの確保に努める。また、施設整備助成による日中サービス支援型グループホームの拡充や、自立生活援助への事業所の新規参入や利用促進を図る。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		
3ヶ月以上1年未満	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		
1年以上	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	R8見込値 保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数：24回 保健、医療（精神科、精神科以外の医療機関別）、福祉、介護、担当者、家族等の関係者の参加者人数：527人 保健、医療及び福祉関係者による協議の場における目標設定および評価の実施回数：4回 精神障がい者の地域移行支援利用者数：7人/月
--	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
<p>有明圏域では、令和2年5月から面的整備型として地域生活支援拠点等の運用を開始している。 地域生活支援拠点等の機能の充実のため、自立支援協議会で年に1回運用状況を検証及び検討する。 有明圏域内にコーディネーターを配置し、令和7年度から設置する基幹相談支援センターと連携しながら効果的な支援体制を構築する。</p>	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年2回	年2回	年2回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	要支援者を事前に把握・リスト化しておき、関係機関と情報共有する。	障害福祉計画には明記していない。	障害福祉計画には明記していない	障害福祉計画には明記していない
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	拠点等機能について相談支援事業所間同士でも話題になる事があり、支援ツールとして理解が進んでいる。	コーディネーターの配置が出来ておらず、相談支援専門員での対応となっている。		
今後の対応等(自由記述) 機能的には制度が掲げるレベルには達していない。各相談事業所が持つケースから抽出するの一手かもしれない。	今後の対応等(自由記述) 圏域にコーディネーターの配置を検討する。			

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コーディネーターを配置して常時の相談体制を確保し、緊急の事態に必要なサービスのコーディネーターや相談その他必要な支援を行う。	コーディネーターの配置を検討する。	コーディネーターを配置する。	コーディネーターを配置する。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	
ブルダウン選択☞ 一定程度できている	ブルダウン選択☞ 一定程度できている		ブルダウン選択☞ 一定程度できている	
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）	
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
緊急対応の準備体制が面的で構成されており、頼りにしている。	現状は緊急時でも、通常の相談支援にて対応していると思われる。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	
該当件数が少ない。また実際に拠点等機能を利用せず解決している可能性もある。それ以上補うとしたらコーディネーター配置が効果的と思う。	圏域全体を補うにはコーディネーターの配置を検討する。			
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	常時の緊急受け入れ体制を確保し、介護者の急病や障がいの状態変化等の緊急時の受け入れや医療機関等への連絡等必要な対応を行う。	障害福祉計画には明記していない。	障害福祉計画には明記していない	障害福祉計画には明記していない
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	
ブルダウン選択☞ 十分できている	ブルダウン選択☞ 一定程度できている		ブルダウン選択☞ 一定程度できている	
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）	
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
面的整備として、参加事業所の協力を得られていると思う。	面的整備として、参加事業所の協力を得られていると思う。しかし、障害特性によっては、受け入れを断られる不安がある。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	
短期入所、居宅介護サービスも短期間など条件的に受けてくれる時もあるが、いくつ当たっても決まらない可能性が大きい。緊急受け入れの場合、報酬は通常の倍くらいあってもいいと思う。	上記に関しては、圏域で協議する必要がある。			

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	自立支援協議会内の地域移行プロジェクトチームにおいて、病院職員、入院患者への研修会を実施し、周知啓発を行う。	障害福祉計画には明記していない。	障害福祉計画には明記していない	障害福祉計画には明記していない
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	
ブルダウン選択☞ 一定程度できている	ブルダウン選択☞ 一定程度できている		ブルダウン選択☞ 十分できている	
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）	
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
拠点等機能について相談支援事業所間同士でも話題になる事があり、支援ツールとして理解ができていると思う。ただし、実際のケースを殆ど耳にしない。	協議会内に「地域移行支援プロジェクトチーム」を設置し、圏域の地域移行について、協議している。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	
とりにかき方がよく分からない。障がい福祉分野に限らず、何かしらの分野が地域共生化できている所があれば、他分野であっても良いのでヒントを探せないだろうか。	引き続き、「地域移行支援プロジェクトチーム」で協議し圏域の地域移行の推進を図っていく。			
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域移行支援や親元からの自立等に当たって、障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場所を提供する。	障害福祉計画には明記していない。	障害福祉計画には明記していない	障害福祉計画には明記していない
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	
ブルダウン選択☞ 一定程度できている	ブルダウン選択☞ 全くできていない			
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）	
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
拠点等機能について相談支援事業所間同士でも話題になる事があり、支援ツールとして理解ができていると思う。ただし、実際のケースを殆ど耳にしない。	地域移行での体験宿泊等のケースがない。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	
とりにかき方がよく分からない。障がい福祉分野に限らず、何かしらの分野が地域共生化できている所があれば情報を提供してもらってヒントを得られると思う。	当事者のニーズを基に、関係機関と連携していく。			

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障がい者について、専門的な対応を行うことができる体制の確保や専門的な対応ができる人材の養成を行う。	障害福祉計画には明記していない。	障害福祉計画には明記していない。	障害福祉計画には明記していない。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会館体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	
ブルダウン選択☞ 十分できている	ブルダウン選択☞ 十分できている		ブルダウン選択☞ 十分できている	
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
拠点等に参加する事業所の中に、研修会を外部事業所にも案内されている所がある。取り組みへ向けた使命感を感じる活動だと思う。	協議会では、月1度の相談支援専門員を対象にした定例会を実施。そこで研修会や事例検討会、スパーセッションを実施している。また、年に1回、圏域の障害福祉サービス事業所を対象とした全体研修会も開催している。本年度は虐待防止に関する研修を行い、多くの事業所が参加し学びを深めた。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	
人が集まり、頼りにできる機会がまだ増えて行けば良いと思う。色々な事業所が行っている既存のイベントに便乗する等も良いと思う。	今後も引き続き、定例会及び全体研修会を行い、圏域の相談支援及び障害福祉サービス事業所についての専門性の確保に努める。			
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コーディネーターを配置し、地域の様々なニーズに対応できるサービスの提供体制を確保する。	コーディネーターの配置を検討する。	コーディネーターを配置する。	コーディネーターを配置する。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会館体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	
ブルダウン選択☞ 全くできていない	ブルダウン選択☞ 全くできていない		ブルダウン選択☞ 全くできていない	
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
具体的に言えるものが出てこない。	体制作りはできていないように感じる。相談支援専門員が個別に対応していると思われる。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	
調査等ができれば良いと思う。	調査等ができれば良いと思う。			

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域生活支援拠点の機能の充実の ため、自立支援協議会にて運用状 況を検証及び検討する。	自立支援協議会における運用状況 の検証及び検討回数 2回	自立支援協議会における運用状況 の検証及び検討回数 2回	自立支援協議会における運用状況 の検証及び検討回数 2回
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている			
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること			
自立支援協議会の中で取り扱うことがあり、また研修等にも参加出 来ている。協議会の気持ちとしても、改善を目指したいモチベ ーションが維持されている。	協議会内で協議することもあり、連携はできていると思われる。 また地域住民への広報については、各市町のホームページに掲載し ている。			
今後の対応等（自由記述） 機能・体制運営を行う中心人物としてどこかにコーディネーター配 置が出来れば、より良く変化していくと思う。	今後の対応等（自由記述） 円滑な連携を目指して、コーディネーターの配置を検討していく。 また、住民へのより良い周知方法を今後も研究していく。			

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	310人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	18人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	5.8%		
目標達成のための方策	地域生活への移行及び地域生活継続といった課題に対応したサービス提供体制を整え、地域の社会資源を活用できるよう体制を整備する。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	310人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	20人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）	6.5%		
目標達成のための方策	地域生活への移行及び地域生活継続といった課題に対応したサービス提供体制を整え、地域の社会資源を活用できるよう体制を整備する。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		
3ヶ月以上1年未満	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		
1年以上	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数：6回 保健、医療及び福祉関係者による協議の場への関係者の参加者数：88人 保健、医療及び福祉関係者による協議の場における目標設定および評価の実施回数：1回
--	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
障害のある方が、障がいの重度化・高齢化や親亡き後を見据え、安心して暮らせるよう、地域全体で支援できる体制を整える。また、障がいのあるなしにかかわらず、地域住民が交流をし、自分のできる範囲で共に支え合いながら、暮らせるような地域を目指す。	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年2回	年2回	年2回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標					
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	現在は基幹相談支援センターや保健所との定例会からの情報が主であるため、相談支援専門員や事業所、総合相談窓口などと情報共有できる機会を設ける。	基幹相談支援センター、保健所との定例会 1回/月(令和6年8月～コーディネーター設置のため、8回が目標)	・基幹相談支援センター、保健所との定例会 1回/月 (上記定例会について、総合相談窓口にも出席を依頼する。)	基幹相談支援センター、保健所との定例会 1回/月	
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)			
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択 <input checked="" type="radio"/> 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択 <input type="radio"/> 全くできていない			
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	地域生活支援拠点コーディネーターが、基幹相談支援センターや保健所との定例会、医療的ケア児についての4課協議などで知り得た対象者からリストを作成されている。		委員から現状報告に対する意見をいただいているが、評価指標の設定をしていなかったため、評価できていない。		
今後の対応等(自由記述) 今後も定期的な情報共有を継続し、名簿作成を行う。		今後の対応等(自由記述) 評価指標の設定			

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	生活支援拠点コーディネーターの配置や役割について関係事業所等に認知される。	・令和6年8月から地域生活支援拠点コーディネーターが配置されたことで、事業所からコーディネーターに相談されるケースが出てきた。 ・平成30年度に協力機関として登録していた事業所に、コーディネーターが向き役の周知が図られ、協力機関としても再認識されたと思われる。	・協力機関の拡充が図られる	・協力機関の拡充が図られる
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 全くできていない	
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
現状・課題に係る評価（自由記述）	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
令和6年8月からコーディネーターの配置がなされたが、事業所等への周知はできてきたが、お互いの協力体制が明確ではない。	障がい者の家族会代表者や民生委員に委員を委嘱しているため、意見をいただいているが、評価としてはとらえ難い。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）			
事業所等への周知はできてきたが、お互いの協力体制が明確ではないため、コーディネーターの負担が大きいと思われる。現状やコーディネーターとしての思いを聞き取り、協力体制を見直す必要がある。	全体会や専門部会の中で地域住民の意見を聞いていく。			
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	生活支援拠点コーディネーターの配置や役割について関係事業所等に認知される。	・令和6年8月から地域生活支援拠点コーディネーターが配置されたことで、コーディネーターを介しての対応ができるようになってきた。 ・平成30年度に協力機関として登録していた事業所に、コーディネーターが向き役の周知が図られ、協力機関としても再認識されたと思われる。	・協力機関の拡充が図られる ・緊急にて障害支援区分を持たないケースの対応についても対応できる仕組みの検討	・協力機関の拡充が図られる ・緊急にて障害支援区分を持たないケースの対応についても対応できる仕組みの検討
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 全くできていない	
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
現状・課題に係る評価（自由記述）	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
令和6年8月からコーディネーターの配置がなされたが、事業所等への周知はできてきたが、お互いの協力体制が明確ではない。	障がい者の家族会代表者や民生委員に委員を委嘱しているため、意見をいただいているが、評価としてはとらえ難い。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）			
事業所等への周知はできてきたが、お互いの協力体制が明確ではないため、コーディネーターの負担が大きいと思われる。現状やコーディネーターとしての思いを聞き取り、協力体制を見直す必要がある。	全体会や専門部会の中で地域住民の意見を聞いていく。			

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	・個別での情報提供はあっていると 思われるが、把握できていない。	・保健所の主催で医療機関からの 地域移行に関する研修会が行われ、 コーディネーターの役割について 周知がなされた。	医療機関や入所施設等からの情報の 整理を行う。 地域移行支援、地域定着支援サー ビスの利用がないため、関係事業 所が学ぶ機会をつくる。	地域移行支援、地域定着支援サー ビスの利用者1名/月を目指す。
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 全くできていない		ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
医療機関や入所施設からの地域移行については、支援体制が明確で ない。地域移行支援、地域定着支援の利用がなく、現状の地域移行 の実感がつかめていない。		障がい者の家族会代表者や民生委員に委員を委嘱しているため、意 見をいただいているが、評価としてはとらえ難い。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
医療機関や入所施設から在宅に戻られたケースについて現状把握を 行い、課題を整理する。		全体会や専門部会の中で地域住民の意見を聞いていく。		
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続 のニーズを踏まえた地域生活の体 験宿泊等の実施	【体験の機会・場】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	生活支援拠点コーディネーターの 配置や役割について関係事業所等 に認知される。	・令和6年8月から地域生活支援 拠点コーディネーターが配置され たことで、コーディネーターを介 しての対応できるようになってき た。 ・平成30年度に協力機関として 登録していた事業所に、コーデ ィネーターが outgoing 役割の周知が図 られ、協力機関としても再認識さ れたと思われる。	・協力機関の拡充が図られる ・緊急にて障害支援区分を持たな いケースの対応についても対応 できる仕組みの検討	・協力機関の拡充が図られる ・緊急にて障害支援区分を持たな いケースの対応についても対応 できる仕組みの検討
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
コーディネーターが積極的に体験の機会をつくり、サービスに繋 げ、安心してサービスを受けられていると思われる。		障がい者の家族会代表者や民生委員に委員を委嘱しているため、意 見をいただいているが、評価としてはとらえ難い。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
実績と課題の整理を行う。		全体会や専門部会の中で地域住民の意見を聞いていく。		

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援地域協議会の専門部会の中で専門職としての力量形成のための研修を行う。 ・専門的人材の確保については 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援地域協議会の専門部会の中で専門職としての力量形成のための研修を実施した。 ・専門的人材の確保については現状と課題の整理ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題の整理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題の整理を行う。
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）			
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	ブルダウン選択⇒ 全くできていない			
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）			
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること			
<ul style="list-style-type: none"> ・現状として、現任の専門職に対してはアンケート等で意見を聞き、研修棟を実践している。 	障がい者の家族会代表者や民生委員に委員を委嘱しているため、意見をいただいているが、評価としてはとらえ難い。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）			
<ul style="list-style-type: none"> ・現任の専門職に対しては、専門部会の研修のほか、外部での研修についても周知を図り、力量形成に努めたい。 ・専門的人材の確保については、実施できることがない。行政として何ができるのか県からも提案をしていただきたい。 	全体会や専門部会の中で地域住民の意見を聞いていく。			

(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期障害者計画策定時のニーズ調査によると、保健・医療・福祉サービスの充実や、就労のニーズが高めである。緊急時や、親亡き後の生活の不安が軽減されるようサービスの充実を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 就労継続支援A型、B型、グループホームの新規指定及び創設を希望する事業所は、既に令和8年度までの計画値に達している。 障害児のサービスについても、放課後等デイサービスの増設希望事業所も令和8年度までの計画値に達している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス事業所の充実を図る ・災害時の支援体制について防災関係課等と連携した体制作りができる。 ・医療的なケアが必要な障害者の災害時の対応について医療機関との支援体制を整えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス事業所の充実を図る ・災害時の支援体制について防災関係課等と連携した体制作りができる。 ・医療的なケアが必要な障害者の災害時の対応について医療機関との支援体制を整えておく。
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）			
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	ブルダウン選択⇒ 全くできていない			
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）			
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること			
<ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービスとしては、事業所も増え、充実してきている部分がある。 	障がい者の家族会代表者や民生委員に委員を委嘱しているため、意見をいただいているが、評価としてはとらえ難い。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）			
<ul style="list-style-type: none"> 今後もサービス利用者や支援者、地域の方々からのニーズ把握に努める。 	全体会や専門部会の中で地域住民の意見を聞いていく。			

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域生活支援拠点やコーディネーターの役割等について専門職以外にも一般住民に周知を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新を行った。 ・地域福祉セミナーで一般向けの講話を行い、民生委員や一般市民の参加があった。 ・コーディネーターが、市内の障害福祉サービス事業所を巡回し役割について周知を図った。 	ホームページ等のほか、出前講座等でも周知を図る。	広報やホームページ等のほか、出前講座等でも周知を図る。
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会館体に参加している障害者や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択 ➡ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択 ➡ 全くできていない 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価 （自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価 （自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	コーディネーターが事業所に足を運び、その役割の周知に努めたことで、顔の見える関係づくりができ、連携した支援ができてきている。協力機関として登録していた事業所についても再認識する機会となった。	障がい者の家族会代表者や民生委員に委員を委嘱しているため、意見をいただいているが、評価としてはとらえ難い。		
	今後の対応等 （自由記述） 今後も、広報やホームページ、出前講座等で周知を図っていく。		今後の対応等 （自由記述） 全体会や専門部会の中で地域住民の意見を聞いていく。	

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）			
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）			
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）			
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）			
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）			

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）			
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）			
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）			
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）			
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）			

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			
3ヶ月以上1年未満	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			
1年以上	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	
--	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
現在、本市の地域生活支援拠点のあるべき姿について、依頼している事業所と協議中である。	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	特に無し	菊池圏域地域自立支援協議会の議題として、実施状況等を報告し、意見(評価)をいただいている。		
	今後の対応等(自由記述) 特に無し	今後の対応等(自由記述) 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告した上で、意見(評価)を求める。		

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	R6年4月から基幹相談支援センターを設置し、地域における障害福祉サービス事業所等をはじめとする地域の社会資源（医療機関、公的機関や各種制度）を活用しながら、連携強化により、障がい者等が地域で安心して暮らすための機能の充実を図る。		菊池圏域地域自立支援協議会の議題として、実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。	
	今後の対応等（自由記述） 福祉課と基幹相談支援センター、拠点コーディネーターとの連携をより一層図っていく。		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告した上で、意見（評価）を求める。	
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	緊急時には短期入所への受け入れを行っている。		菊池圏域地域自立支援協議会の議題として、実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。	
	今後の対応等（自由記述） 緊急時の受け入れ先の確保を図っていく。		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告した上で、意見（評価）を求める。	

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	R6年4月から基幹相談支援センターを設置し、障害者支援施設や精神科病院等から地域移行に向けた普及啓発、地域生活を支えるための体制整備を図る。		菊池圏域地域自立支援協議会の議題として、実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。	
	今後の対応等（自由記述） 福祉課と基幹相談支援センター、拠点コーディネーターとの連携をより一層図っていく。		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告した上で、意見（評価）を求める。	
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	特に無し		菊池圏域地域自立支援協議会の議題として、実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。	
	今後の対応等（自由記述） 福祉課と基幹相談支援センター、拠点コーディネーターとの連携をとりながら、地域生活の体験宿泊等の実施に向けた取り組みを図る。		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告した上で、意見（評価）を求める。	

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない）			
ブルダウン選択 ⇒ 一定程度できている	ブルダウン選択 ⇒ 一定程度できている			
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
現状・課題に係る評価 （自由記述）	現状・課題に係る評価 （自由記述）	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること
R6年4月から基幹相談支援センターを設置し、職員2名のうち1名は医療的ケア児等コーディネーターの資格を有しており、専門的な対応を行うことができる体制の確保を行っている。	菊池圏域地域自立支援協議会の議題として、実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。			
今後の対応等 （自由記述）	今後の対応等 （自由記述）			
医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障害者に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保を図る。	今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告した上で、意見（評価）を求める。			

(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない）			
ブルダウン選択 ⇒ 一定程度できている	ブルダウン選択 ⇒ 一定程度できている			
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
現状・課題に係る評価 （自由記述）	現状・課題に係る評価 （自由記述）	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること
R6年4月から基幹相談支援センターを設置し、地域における障害福祉サービス事業所等をはじめとする地域の社会資源（医療機関、公的機関や各種制度）を活用しながら、連携強化により、障がい者等が地域で安心して暮らすための機能の充実を図る。	菊池圏域地域自立支援協議会の議題として、実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。			
今後の対応等 （自由記述）	今後の対応等 （自由記述）			
福祉課と基幹相談支援センター、拠点コーディネーターとの連携をとりながら障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりを図る。	今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告した上で、意見（評価）を求める。			

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	特に無し	菊池圏域地域自立支援協議会の議題として、実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
	今後の対応等（自由記述） 地域住民に対する周知・広報を図る。	今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告した上で、意見（評価）を求める。		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	82人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	5人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	6.1%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	82人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	5人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）	6.1%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人		
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人		
				（うち）65歳未満	
				（うち）65歳以上	
3ヶ月以上1年未満	人	人	人		
				（うち）65歳未満	
				（うち）65歳以上	
1年以上	人	人	人		
				（うち）65歳未満	
				（うち）65歳以上	

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	項目	2人	2人	2人
	地域移行支援の利用者数			

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿				
合志市では、地域における複数の機関が分担して機能を担う体制の「面的整備型」で地域生活支援拠点等を整備し、障がい者(児)の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築を目指しています。				

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	支援体制の整備を行う	事前把握	事前把握	事前把握
	コアメンバー(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会務体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	特になし	毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見(評価)をいただいている。		
今後の対応等(自由記述) 体験の機会・場、緊急時の受入・対応、専門人材の養成・確保、地域の体制づくりについて、順次整備していく。	今後の対応等(自由記述) 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見(評価)を求める。			

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	緊急時の支援が必要な障がい者を事前に把握・登録したうえで、常時の連絡体制を確保し、緊急事態等において必要なサービスの調整や相談、その他必要な支援を行う	相談支援の中核を担う基幹相談支援センターの設置準備	基幹相談支援センターの設置	基幹相談支援センターによる相談支援体制の整備
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
特になし		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見をいただいている。		
今後の対応等（自由記述） 特になし		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見を求める。		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	短期入所事業所等を活用した緊急事態における受け入れや、医療機関への連絡等の必要な対応を行う	短期入所事業所等への登録依頼	事業所登録数の増加	事業所登録数増加による体制整備の強化
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
特になし		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見をいただいている。		
今後の対応等（自由記述） 今後整備していく		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見を求める。		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域移行のニーズ把握のため、基幹相談支援センターを中心とした地域の社会資源の連携体制の構築等を行う	地域移行の継続等のニーズ把握のための基幹相談支援センターの設置準備	地域移行の継続等のニーズ把握のための基幹相談支援センターの設置	地域移行の継続等のニーズ把握のための基幹相談支援センターの設置
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
特になし		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見をいただいている。		
今後の対応等（自由記述） 今後整備していく		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見を求める。		

(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	障害者支援施設や精神科病院等からの地域移行や親元からの自立に当たって、共同生活援助等の障がい福祉サービスの利用や、一人暮らしの体験の機会・場を提供する。	体験の機会・場の提供のための事業所登録の依頼	体験の機会・場の提供のための事業所登録数の増加	体験の機会・場の提供のための事業所登録数の増加
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
特になし		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見をいただいている。		
今後の対応等（自由記述） 今後整備していく		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見を求める。		

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	医療的ケアが必要な者や強度行動障害を有する者、高齢化に伴い高度化した障がい者等に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や人材の養成を行う。	専門的な対応を行うことが出来る体制整備のために基幹相談支援センターの設置準備	専門的な対応を行うことが出来る体制整備のために基幹相談支援センターの設置	基幹相談支援センターを中心とした体制整備及び人材育成
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
特になし		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見をいただいている。		
今後の対応等（自由記述） 今後整備していく		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見を求める。		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う。	地域の様々なニーズ把握のための基幹相談支援センターの設置準備	地域の様々なニーズ把握のための基幹相談支援センターの設置	基幹相談支援センターによるニーズの把握。サービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
特になし		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見をいただいている。		
今後の対応等（自由記述） 今後整備していく		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見を求める。		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域生活支援拠点等の周知・広報 や関係機関との連携体制の構築の ための基幹相談支援センターの整 備を行う	地域生活支援拠点等の周知・広報 や関係機関との連携体制の構築の ための基幹相談支援センターの設 置準備	地域生活支援拠点等の周知・広報 や関係機関との連携体制の構築の ための基幹相談支援センターの設 置	地域生活支援拠点等の周知・広報 や関係機関との連携体制の構築の ための基幹相談支援センターの設 置
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
特になし		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、 意見（評価）をいただいている。		
今後の対応等（自由記述） 拠点の整備を進めている状況であるため、周知等はできていない。		今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評 価）を求める。		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	73人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	5人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	6.8%		
目標達成のための方策	施設入所者の待機者との関係を注視しながら施設入所者の地域生活への移行を検討する		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）	2人	3人	5人
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	2.7%	4.1%	6.8%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	2人	5人	10人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	2.7%	6.8%	13.7%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	73人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）	0.0%		
目標達成のための方策	施設入所者の待機者との関係を注視しながら施設入所者の地域生活への移行を検討する		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	75人	75人	75人
3ヶ月未満（急性期）	17人	17人	17人
	（うち）65歳未満	2人	2人
	（うち）65歳以上	15人	15人
3ヶ月以上1年未満	15人	15人	15人
	（うち）65歳未満	3人	3人
	（うち）65歳以上	12人	12人
1年以上	43人	43人	43人
	（うち）65歳未満	13人	13人
	（うち）65歳以上	30人	30人

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催（年2回） 保健、医療及び福祉関係者による協議の場の関係者参加人数（10人） 保健、医療及び福祉関係者による協議の場の目標設定及び評価の実施回数（年1回）
--	---

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿				
障がいの重度化、高齢化や「親亡き後」を見据え、障がい者又は障がい児が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするため、地域の複数の事業者が機能を分担して面的な支援を行う体制の整備を推進し、障がい者等の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の整備を図る。				

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること 緊急対応が必要な時に備えた名簿管理が十分にできているとは言えない状況であり、整備の必要性を感じている。	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること 毎年、菊池圏域地域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見(評価)をいただいている。		
	今後の対応等(自由記述) 引き続き、医療的ケア児について町の関係各課で情報を共有し、名簿管理を行っていく。	今後の対応等(自由記述) 今後も菊池圏域地域自立支援協議会等に報告したうえで、意見(評価)を求める。		

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
相談支援専門員からの情報提供や相談により、基幹相談支援センターと連携し、対応できる体制が取れつつある。		毎年、菊池圏域地域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
基幹相談支援センターを中心とし、相談支援体制の充実、緊急対応時に対応可能な体制づくりに取り組みたい。		今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 全くできていない		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
緊急対応可能な受け入れ先を常時確保することは困難であるが、必要時に相談しながら、受け入れ先を確保したい。		毎年、菊池圏域地域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
緊急時の受け入れ先の確保について、他市町村の先進事例等を参考に検討する。		今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	相談支援専門員等からの情報提供により、情報共有や検討ができる体制が整いつつある状況。		毎年、菊池圏域地域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。	
	今後の対応等（自由記述） 情報共有や相談の機会を定期的に確保し、相談しやすい関係づくりに努めていく。		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。	
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	通所事業所では、相談に応じ随時、体験利用が可能な体制ができている。		毎年、菊池圏域地域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。	
	今後の対応等（自由記述） 町独自の研修の企画・実施等は困難であることから、研修についての情報を収集し、情報提供を行っていく。		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。	

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	事業所に対し、県主催の研修会についての情報提供を行っている。	毎年、菊池圏域地域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
	今後の対応等（自由記述） 町独自の研修の企画・実施等は困難であることから、研修についての情報を収集し、情報提供を行っている。	今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	基幹相談支援センターが中心となり、関係機関・事業所等との連携会議を開催している。	毎年、菊池圏域地域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
	今後の対応等（自由記述） 関係機関や事業所等の連携体制がとれるよう、引き続き、協力体制を維持する。	今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	各事業所の具体的な事業の内容等についての周知は行っているが、更に分かりやすい掲載が必要である。	毎年、菊池圏域地域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
	今後の対応等（自由記述） 地域の障がいのある方々にとって分かりやすい形で周知できるよう検討していきたい。	今後も、菊池圏域地域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	42人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	3人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	7.1%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	42人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）	0.0%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人		
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人		
				（うち）65歳未満	
				（うち）65歳以上	
3ヶ月以上1年未満	人	人	人		
				（うち）65歳未満	
				（うち）65歳以上	
1年以上	人	人	人		
				（うち）65歳未満	
				（うち）65歳以上	

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	協議の場の開催回数・・・令和6年度～令和8年度 各2回 協議の場への関係者の参加者数・・・令和6年度～令和8年度 各10人 評価の実施回数・・・令和6年度～令和8年度 各1回
--	---

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
菊陽町では、相談体制の強化や福祉サービスのスムーズな提供、さらには地域住民への障がい者(児)に対する理解を深める取り組みなどを通して、障がい者(児)の入所施設や病院からの地域への移行がスムーズに行える体制構築を目指す。	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	町と基幹相談支援センターが協力し、要支援者の事前登録を各相談支援専門員に依頼し、「安心プラン」シートを作成する。	町と基幹相談支援センターが協力し、要支援者の事前登録を各相談支援専門員に依頼し、「安心プラン」シートの作成に取り組む。	提出ができていない相談支援事業所等にたいして、改めて、内容の説明を行い、シート作成の協力依頼を行う。	提出ができていない相談支援事業所等にたいして、改めて、内容の説明を行い、シート作成の協力依頼を行う。
	コアメンバー(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択 <input checked="" type="checkbox"/> 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択 <input checked="" type="checkbox"/> 一定程度できている		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること	
	シートを作成を依頼しているものの、提出できていない事業所もあり、引き続き、趣旨の説明及び協力依頼を行う必要がある。		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見(評価)をいただいている。	
	今後の対応等(自由記述) 「安心プラン」シートの継続的な登録依頼及び、情報整理を行う。		今後の対応等(自由記述) 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見(評価)を求める。	

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	基幹相談支援センターを中核とし、一般相談を委託している2事業所及び特定相談支援事業所の支援体制の確保及び強化を図る。	基幹相談支援センター及び相談支援事業を委託している2事業所を核に相談体制を整える。 加えて、特定相談支援事業所の拡充を図る。	基幹相談支援センター及び相談支援事業を委託している2事業所を核に相談体制の充実を図る。 加えて、特定相談支援事業所の拡充を図る。	基幹相談支援センター及び相談支援事業を委託している2事業所を核に相談体制の充実を図る。 加えて、特定相談支援事業所の拡充を図る。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
基幹相談支援センター及び相談支援事業を委託している2事業所を核に相談体制の確保を行っている。 特定相談支援事業所の指定については、不足感があるため今後拡充を図る必要がある。		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
今後も上述の事業所を主とし相談体制の確保に努めるとともに、特定相談支援事業所の拡充に務める。		今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	緊急時の受入体制を整備する。	町内のグループホームと契約し、緊急時の受け入れ体制整備を行う。	町内のグループホームと契約し、緊急時の受け入れ体制整備を行う。	町内のグループホームと契約し、緊急時の受け入れ体制整備を行う。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
令和4年度より町内のグループホームと契約し、緊急時の受け入れ体制を整えた。		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
今後も受入体制の整備を継続する。		今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	周辺の精神病院等からのニーズを把握するとともに、個別に相談があれば地域移行を含めた支援を行う。	基幹相談支援センターが主となりニーズの把握に努める。	基幹相談支援センターが主となりニーズの把握を行うとともに、二もケア会議を実施し、医療機関や事業所及び当事者のニーズの把握に努める。	基幹相談支援センターが主となりニーズの把握を行うとともに、二もケア会議を実施し、医療機関や事業所及び当事者のニーズの把握に努める。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
基幹相談支援センターが主となり、周辺の精神病院からのニーズを把握するとともに、個別に相談があれば地域移行を含めた支援を行っている。また、にもケア会議において当事者を参集し、ニーズの把握に努めた。		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
今後の対応等（自由記述） 今後もニーズの把握に努める。		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	体験の機会・場を確保し、ニーズの把握を行う。	地域生活への移行や定着を支援することを目的に体験的な宿泊の場を確保を行う。	地域生活への移行や定着を支援することを目的に体験的な宿泊の場を確保を行う。	地域生活への移行や定着を支援することを目的に体験的な宿泊の場を確保を行う。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
地域生活への移行や定着を支援することを目的に体験的な宿泊の場を確保した。		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
今後の対応等（自由記述） 体験の場を確保を継続し、地域移行を支援する。		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	役場の福祉課内に基幹相談支援センターを設置し、主任相談支援専門員及び精神保健福祉士等の専門の人材を確保する。	役場の福祉課内に基幹相談支援センターを設置し、主任相談支援専門員及び精神保健福祉士等の専門の人材を確保する。	役場の福祉課内に基幹相談支援センターを設置し、主任相談支援専門員及び精神保健福祉士等の専門の人材を確保する。	役場の福祉課内に基幹相談支援センターを設置し、主任相談支援専門員及び精神保健福祉士等の専門の人材を確保する。
コメンパー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
役場の福祉課内に基幹相談支援センターを設置し、主任相談支援専門員及び精神保健福祉士を配置している。		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
今後も体制を維持する。		今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	基幹相談支援センターを中心に地域や事業所等のニーズの把握に努め、地域の体制づくりを図る。	地域や各事業所のニーズを踏まえた研修等のスーパーバイズを実施に取り組み。また、各事業所の空き状況や困りごと等を把握し情報共有を図る。	地域や各事業所のニーズを踏まえた研修等のスーパーバイズを実施に取り組み。また、各事業所の空き状況や困りごと等を把握し情報共有を図る。	地域や各事業所のニーズを踏まえた研修等のスーパーバイズを実施に取り組み。また、各事業所の空き状況や困りごと等を把握し情報共有を図る。
コメンパー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
地域や各事業所のニーズを踏まえ、障がい者・児に関わる事業所を参集し研修会を実施した。また、各事業所の空き状況や困りごと等を把握し情報共有を図った。		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、意見（評価）をいただいている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
今後も地域や各事業所のニーズの把握に努め、地域の体制づくりを図る。		今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評価）を求める。		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	関係機関との連携を図ったうえで、地域住民に対する周知を図る。	関係機関との連携体制構築に向けて基幹相談支援センターと協議を実施する。	関係機関向けの研修会や部会を実施し、連携体制強化を図る。	関係機関向けの研修会や部会を実施し、連携体制強化を図る。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
関係機関との連携体制の構築については、基幹相談支援センターを中心に おおむね実施できているが、地域住民に対する周知については、 不十分である。		毎年、菊池圏域自立支援協議会の議題として実施状況等を報告し、 意見（評価）をいただいている。		
今後の対応等（自由記述） 今後は地域住民に対する周知に努める。		今後の対応等（自由記述） 今後も、菊池圏域自立支援協議会等に報告したうえで、意見（評 価）を求める。		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	30人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	2人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	6.7%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）	人	1人	1人
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	3.3%	3.3%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	1人	2人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	3.3%	6.7%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	30人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	0人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割合（B/A）	0.0%		
目標達成のための方策	施設入所の待機者が多く存在し、現実的に国の基本方針を達成することは困難。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）	0人	0人	0人
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人			
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		
3ヶ月以上1年未満	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		
1年以上	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	保健、医療、福祉関係者、当事者等による協議の場開催（活動指標） 令和6年度 4回/年程度 令和7年度 4回/年程度 令和8年度 4回/年程度
--	---

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿				
障がい者等や家族にとって、夜間でも休日でも相談ができて方が一のときに必要な支援を受けことができる支援体制及び住み慣れた地域で安心して生活できる生活圏内の支援体制整備を目指していきます。				

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	必要に応じた適切な支援を行うことで障がい者等が安心して暮らし続けることができるように、圏域内の各市町村において要支援者の把握に努める。			
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	名簿作成には至っていないが、潜在的に支援が必要な障がい者、障がい児は各市町村において一定程度把握している。	拠点整備後、自立支援協議会全体会において運用状況の報告を行っているが、現在のところ特に意見・提案等はない。		
今後の対応等(自由記述) 今後の運用状況により、必要に応じて名簿作成や情報共有等も検討を行う	今後の対応等(自由記述) 今後も継続して、拠点等の運用状況・改善等の把握を行うとともに、協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者への情報共有に努めたい。			

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	基本相談支援を基盤とした計画相談支援を第1層、一般的な相談支援を第2層、地域における相談支援体制の整備や社会資源の開発などを行う第3層とした3層構造での相談支援を行う。			
コメンタリー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）			
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	ブルダウン選択⇒ 一定程度できている			
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）			
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること			
運用マニュアルに基づき、阿蘇圏域市町村・事業所と連携し相談体制を確保している。明らかに緊急でない場合も対応を求められる場合があったため、令和6年度に緊急時の定義について運用マニュアルに追加した。	拠点整備後、自立支援協議会全体会において運用状況の報告を行っているが、現在のところ特に意見・提案等はない。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）			
	今後も継続して、拠点等の運用状況・改善等の把握を行うとともに、協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者への情報共有に努めたい。			
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	「虐待、急病等による介護者の不在または本人の障害特性に起因する対応困難等で、在宅での生活ができない事情が生じた場合」を緊急時と定義し、障害福祉サービスの居宅介護または短期入所の活用を基本とし、障害福祉サービスの利用をしたことのない方には特例介護給付を活用する。			
コメンタリー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）			
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	ブルダウン選択⇒ 一定程度できている			
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）			
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること			
運用マニュアルに基づき、阿蘇圏域市町村・事業所と連携し受け入れ先の確保に努めている。	拠点整備後、自立支援協議会全体会において運用状況の報告を行っているが、現在のところ特に意見・提案等はない。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）			
今後も適宜連携に努める。	今後も継続して、拠点等の運用状況・改善等の把握を行うとともに、協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者への情報共有に努めたい。			

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	障がい者等の意思を尊重した地域生活を支援するため、本人のニーズの把握に努める。			
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
各市町村が地域生活支援拠点等と連携しニーズの把握に努めている。		拠点整備後、自立支援協議会全体会において運用状況の報告を行っているが、現在のところ特に意見・提案等はない。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
今後も各市町村と地域生活支援拠点等が連携しニーズの把握に努める。また、必要に応じ連絡会等と情報共有を行う等、把握方法についても検討を行う。		今後も継続して、拠点等の運用状況・改善等の把握を行うとともに、協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者への情報共有に努めたい。		
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	体験利用可能なグループホームや日中活動系事業所の情報を随時集約・提供を行い、一定の地域生活体験や生活アセスメントの実施ができる体制づくりに努める。			
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
体験利用可能な事業所の整理ができており、各市町村が地域生活支援拠点等と連携しニーズの把握に努めている。		拠点整備後、自立支援協議会全体会において運用状況の報告を行っているが、現在の特に意見・提案等はない。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
今後も各市町村と地域生活支援拠点等が連携しニーズの把握に努める。		今後も継続して、拠点等の運用状況・改善等の把握を行うとともに、協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者への情報共有に努めたい。		

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	障がい福祉に携わる関係者等を対象に、自立支援協議会等を活用し、障がい特性や緊急時の対応事例に基づいた報告会等を開催することで、阿蘇圏域全体の障がい福祉に関する資質向上に努める。				
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
	ブルダウン選択 ⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択 ⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価 （自由記述）		現状・課題に係る評価 （自由記述）		
	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	運用マニュアルに基づき、圏域事業所と連携を図っており、一定の専門性を担保していると考え。一方で、人材の確保について、いずれの機関においても人材が不足しており、人材獲得も難しい状況となっている。	拠点整備後、自立支援協議会全体会において運用状況の報告を行っているが、現在のところ特に意見・提案等はない。			
	今後の対応等 （自由記述）		今後の対応等 （自由記述）		
今後も専門性の確保に努める。また、人材の確保についても手立てを検討する。		今後も継続して、拠点等の運用状況・改善等の把握を行うとともに、協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者への情報共有に努めたい。			
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	障がい者等が安心して暮らし続けるために、切れ目のない支援を目指し、事業所等と連携するとともに公的機関や各種制度を活用できる体制づくりを行う。				
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
	ブルダウン選択 ⇒ 十分できている		ブルダウン選択 ⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価 （自由記述）		現状・課題に係る評価 （自由記述）		
	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	地域生活支援拠点等を圏域で面的整備し、地域資源の見える化は実施できている。運用マニュアルには「社会福祉協議会と連携し」との記載があるが、実施できていない。	拠点整備後、自立支援協議会全体会において運用状況の報告を行っているが、現在のところ特に意見・提案等はない。			
	今後の対応等 （自由記述）		今後の対応等 （自由記述）		
社会福祉協議会との連携について、どのような対応が可能か協議を行う。		今後も継続して、拠点等の運用状況・改善等の把握を行うとともに、協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者への情報共有に努めたい。			

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域生活支援拠点等が地域に広く 知られ、あらゆる障がい者等が地 域生活を送るうえで適切な支援を 受けることができるように、関係 機関との連携強化に努める。			
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）	
	充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択 ⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		充足度 （十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択 ⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価 （自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価 （自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	阿蘇圏域市町村において、ほぼ同様の内容をHPに掲載し周知を 行っていることから一定程度の対応ができているものとする。 また、R5年度に設定した今後の対応等について、「民生委員児童委 員の定例会で簡単なリーフレットの配布等を実施する」としていた が、実施できていない。		拠点整備後、自立支援協議会全体会において運用状況の報告を行っ ているが、現在のところ特に意見・提案等はない。	
	今後の対応等 （自由記述）		今後の対応等 （自由記述）	
	再度、民生委員児童委員の定例会で簡単なリーフレットを配布する 等、住民への周知・広報に努める。 また、地域包括支援センター等関係機関への周知についても検討す る。		今後も継続して、拠点等の運用状況・改善等の把握を行うととも に、協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係 者への情報共有に努めたい。	

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）			
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）			
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）			
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）			
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）			

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）			
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）			
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）			
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）			
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）			

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人			
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		
3ヶ月以上1年未満	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		
1年以上	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 <small>地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。</small>	
---	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障がい者の住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みを構築するため、地域支援のための拠点の整備や、地域の事業者が機能を分担して面的な支援を行う体制等の整備を推進し、障がい者の生活を地域全体で支える提供体制の整備を図る。	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
目標値	1箇所	障害福祉計画の1年目(令和6年度) 年1回	障害福祉計画の2年目(令和7年度) 年1回	障害福祉計画の3年目(令和8年度) 年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目(令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目(令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目(令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☞ 全くできていない	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☞ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること そもそも要支援者の事前把握や名簿作成ができていない。	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること 要支援者の事前把握や名簿作成が出来ていない。		
今後の対応等(自由記述) 本年度より連絡会議を再開した。今後の在り方についてこれから検討することとしているが、名簿作成の手法等についても検討していく。	今後の対応等(自由記述) 本年度より連絡会議を再開した。今後の在り方についてこれから検討することとしているが、名簿作成の手法もこの場で検討していく。協議会での評価はその後検討する。			

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	要支援者の事前把握や名簿作成ができていないが、緊急時を含む相談支援体制の確保は出来ている。 これについて市町村担当者で共有し評価している。	要支援者の事前把握や名簿作成ができていないが、緊急時を含む相談支援体制の確保は出来ている。 これについて市町村担当者で共有し評価したうえで全体会に共有し意見をj得る機会を設けている。		
	今後の対応等（自由記述） 本年度より連絡会議を再開した。 今後の在り方についてを含め評価等についてもこれから検討することとしている。	今後の対応等（自由記述） 本年度より連絡会議を再開した。 今後の在り方についてを含め評価等についてもこれから検討することとしている。		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	要支援者の事前把握や名簿作成ができていないが、緊急時の受け入れ先の確保は行っている。 これについて市町村担当者で共有し評価している。	要支援者の事前把握や名簿作成ができていないが、緊急時の受け入れ先の確保は行っている。 これについて市町村担当者で共有し評価したうえで全体会に共有し意見をj得る機会を設けている。		
	今後の対応等（自由記述） 本年度より連絡会議を再開した。 今後の在り方についてを含め評価等についてもこれから検討することとしている。	今後の対応等（自由記述） 本年度より連絡会議を再開した。 今後の在り方についてを含め評価等についてもこれから検討することとしている。		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 実施していない		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 実施していない		
今後の対応等（自由記述） 今後実施することとし、連絡会議等において手法やあり方等検討していく		今後の対応等（自由記述） 今後実施することとし、連絡会議等において手法やあり方等の検討を行い、全体会に共有していく。		
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 要支援者の事前把握や名簿作成ができていないが、体験先の確保は行っている。 これについて市町村担当者で共有し評価している。		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 要支援者の事前把握や名簿作成ができていないが、体験先の確保は行っている。 これについて市町村担当者で共有し評価したうえで全体会に共有し意見をj得る機会を設けている。		
今後の対応等（自由記述） 本年度より連絡会議を再開した。 今後の在り方についてを含め評価等についてもこれから検討することとしている。		今後の対応等（自由記述） 本年度より連絡会議を再開した。 今後の在り方についてを含め評価等についてもこれから検討することとしている。		

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	実施していない。		実施していない。	
	今後の対応等（自由記述） 今後実施することとし、連絡会議等において手法やあり方等検討していく		今後の対応等（自由記述） 今後実施することとし、連絡会議等において手法やあり方等の検討を行い、全体会に共有していく。	
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	実施していない。		実施していない。	
	今後の対応等（自由記述） 今後実施することとし、連絡会議等において手法やあり方等検討していく		今後の対応等（自由記述） 今後実施することとし、連絡会議等において手法やあり方等の検討を行い、全体会に共有していく。	

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会館体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	周知・広報について不足していることを5町共通で評価し、今後の体制協議に繋げることとした。		周知・広報について不足していることを5町共通で評価し、全体会に共有した。	
	今後の対応等（自由記述） 連絡会議を再開した。今後周知・広報を含め効果的な事業の在り方について検討検証を行っていく。		今後の対応等（自由記述） 現在の対応に加え、事業のより効果的で実現可能な在り方について検討していく。	

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	53人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	50人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	94.3%		
目標達成のための方策	特になし		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	53人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	3人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）	5.7%		
目標達成のための方策	特になし		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）	3人		
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	5.7%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	3人	3人	3人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	5.7%	5.7%	5.7%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）		
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人		
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人		
				（うち）65歳未満	
				（うち）65歳以上	
3ヶ月以上1年未満	人	人	人		
				（うち）65歳未満	
				（うち）65歳以上	
1年以上	人	人	人		
				（うち）65歳未満	
				（うち）65歳以上	

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 <small>地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。</small>	上益城圏域自立支援協議会における精神障がい者支援部会での協議を年3回以上行う。
---	---

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
<p>本市における地域生活支援拠点等については、「宇土市ともに支え合う福祉のまちづくり」を目指して整備した。障がい者等の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みを地域の実情に応じて整備することで、障がい者及び障がい児が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことを地域全体で支えるサービス提供体制の構築を図ることを目的として実施することとしている。</p> <p>地域生活支援拠点等の5つの機能の確保にあたっては、市内の社会資源を動員した上で、各機能の連携や支援のための人員確保等効率的かつ柔軟な対応を可能とするため、関係機関ごとに機能を整理しつつ、充足できない7機能をネットワークでカバーしていく面的整備型（地域支援連携型）で整備する。本市で不足する資源については、宇城圏域の他市町と連携する。</p>	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目(令和6年度)	障害福祉計画の2年目(令和7年度)	障害福祉計画の3年目(令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児（強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等）の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	<p>【要支援者の事前把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標</p> <p>「誰一人取り残さない」ことを目標に、障がい者等の地域での生活を支援するために、拠点コーディネーターを配置し、事前把握及び連携体制を構築する。</p>	<p>障害福祉計画の1年目(令和6年度)できる限り数値目標も</p> <p>・関係者による協議の場の開催(1回/年)</p>	<p>障害福祉計画の2年目(令和7年度)できる限り数値目標も</p> <p>・拠点コーディネーターの配置による体制強化 ・関係者による協議の場の開催(1回/年)</p>	<p>障害福祉計画の3年目(令和8年度)できる限り数値目標も</p> <p>・拠点コーディネーターの配置による体制強化 ・関係者による協議の場の開催(1回/年)</p>
	<p>コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価</p>		<p>協議会等の会費に参加している障害者や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）</p>	
	<p>充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）</p> <p>ブルダウン選択☑ 一定程度できている</p> <p>様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること</p>		<p>充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）</p> <p>ブルダウン選択☑ 全くできていない</p> <p>様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること</p>	
	<p>現状・課題に係る評価（自由記述）</p> <p>中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること</p> <p>医療ケア児については、庁内の関係4課で協議し、対象者の把握を行った。要支援者の事前把握については登録者が少ないため、事前把握のための関係機関等との情報共有があまりできていない。</p>		<p>現状・課題に係る評価（自由記述）</p> <p>中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること</p> <p>協議会において前年度の状況報告のみ実施している</p>	
	<p>今後の対応等（自由記述）</p> <p>まず、事業についての周知から取組み、関係機関と連携し、情報共有を図る。</p>		<p>今後の対応等（自由記述）</p> <p>報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す</p>	

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	障がい者等に対し、緊急時の対応ができるよう常時の連絡体制を確保する。	拠点登録者の支援計画書作成・見直しを定期的実施し、緊急時の対応について相談体制を確保する。	拠点登録者の支援計画書作成・見直しを定期的実施し、緊急時の対応について相談体制を確保する。	拠点登録者の支援計画書作成・見直しを定期的実施し、緊急時の対応について相談体制を確保する。
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
拠点登録者については、拠点コーディネーターが未配置だが、基幹相談支援センターの協力により、定期的に支援計画書の見直しや支援会議を開催している。 また、機能強化型支援加算（ ）がある相談支援事業所が協力事業所に登録したことにより、相談体制の強化につながった。		協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
今後の対応等（自由記述） 今後、取組みを推進するために拠点コーディネーターの配置を検討し、それぞれの協力事業所の機能・役割について再度協議する。		今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	緊急時の受け入れ体制を強化し、必要時の支援につなげることができる。	緊急時の受け入れ体制の強化を図る。	緊急時の受け入れ体制の強化のため、事業の周知を図り、拠点事業所の登録を推進する。 拠点事業所としての登録の増加（前年度と比較）	緊急時の受け入れ体制の強化のため、事業の周知を図り、拠点事業所の登録を推進する。 拠点事業所としての登録の増加（前年度と比較）
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
現状としては、これまで評価・検証ができていなかったため、現在の受け入れ態勢の把握が十分とは言えない。		協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
今後の対応等（自由記述） 今後、取組みを推進するために拠点コーディネーターの配置を検討し、それぞれの協力事業所の機能・役割について再度協議する。		今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	障がい者本人の自己決定を尊重する観点から、意思決定支援の充実を図り、「誰一人取り残さない」ことを目標に、障がい者等が安心・安全に地域での生活ができるよう支援する。	関係機関と連携し、入院、入所している障がい者のニーズの把握に努め、障がい者の意思決定を支援した上で地域生活への移行等のための情報提供を行う。	関係機関と連携し、入院、入所している障がい者のニーズの把握に努め、障がい者の意思決定を支援した上で地域生活への移行等のための情報提供を行う。	関係機関と連携し、入院、入所している障がい者のニーズの把握に努め、障がい者の意思決定を支援した上で地域生活への移行等のための情報提供を行う。	
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	「誰一人取り残さない」ことを目標に、障がい者等の地域での生活を支援する。		協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
	今後の対応等（自由記述） 圏域での連携会議や、関係機関との連携を図り、ニーズの把握をしていく必要がある。今後、拠点コーディネーターを配置し、連携して対応をしていける体制を整備する。		今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		
	(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施				
	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
様々な体験の機会・場の提供を行い、地域で安心して生活していけるよう支援する。	様々な体験の機会・場の提供を行い、地域で安心して生活していけるよう支援する。	様々な体験の機会・場の提供を行い、地域で安心して生活していけるよう支援する。	様々な体験の機会・場の提供を行い、地域で安心して生活していけるよう支援する。		
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない			
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること			
体験の機会を設けても、本人の拒否が強く実施できなかったこともあり、本人の意思決定を尊重するなかでの支援の難しさもある。拠点登録者が少数ということもあり実績がなく、事業周知もうまく回っていないこともあり、形骸化しているものもある。		協議会において前年度の状況報告のみ実施している			
今後の対応等（自由記述） 今後、取組みを推進するために拠点コーディネーターの配置を検討し、それぞれの協力事業所の機能・役割について再度協議する。		今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す			

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	専門的な対応を行う体制の確保や 人材の育成を行い、障がい者等が 地域で安心して生活していけるよ う支援する。	基幹相談支援センターが中心とな り、相談支援専門員の相談対応や 支援を実施し、専門性の向上と対 応力の強化を図る。	基幹相談支援センターが中心とな り、相談支援専門員の相談対応や 支援を実施し、専門性の向上と対 応力の強化を図る。	基幹相談支援センターが中心とな り、相談支援専門員の相談対応や 支援を実施し、専門性の向上と対 応力の強化を図る。
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 基幹相談支援センターと連携し、情報共有をしている。		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
今後の対応等（自由記述） 人材育成には高い専門性が必要となることから、基幹相談支援セン ターの協力のもと連携し取組む。		今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生 活のニーズを踏まえた地域の体制 づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	相談支援事業所等が把握したニ ーズを関係機関と検討・検証し、地 域課題の解決に向けた体制を構築 する。	市独自で協議の場を開催する必要 があるがまだ開催できていないた め、宇城圏域障がい者支援協議会 の各専門部会での困難事例等の検 討によりニーズの把握や課題を把 握していく。	拠点協力事業所等に対し、事業の 再構築のための説明会を実施す る。 市独自で協議の場を開催する必要 があるがまだ開催できていないた め、宇城圏域障がい者支援協議会 の各専門部会での困難事例等の検 討によりニーズの把握や課題を把 握していく。	市独自で拠点協力事業所等と協議 の場を開催し、ニーズの把握や課 題を把握し、地域の体制づくりを 行っていく。
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 拠点整備後は、ニーズを踏まえた地域の体制づくりまでに取りがが れる人員の余裕がなかった。		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
今後の対応等（自由記述） 今後、取組みを推進するために拠点コーディネーターの配置を予定 しており、それぞれの協力事業所の機能・役割について再度協議す る。		今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域住民へ関係機関等と連携し、 役割分担	運用状況の検証及び検討 1回/年	運用状況の検証及び検討 1回/年	運用状況の検証及び検討 1回/年
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）			
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	
ブルダウン選択⇒ 全くできていない	ブルダウン選択⇒ 全くできていない		ブルダウン選択⇒ 全くできていない	
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）	
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
拠点整備後にコロナ禍もあり、担当者も変わる中で周知や関係機関 との連携体制は取れていなかった。	協議会において前年度の状況報告のみ実施している			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	
新たに拠点協力事業所も増えていることから、実際に必要となった 際に機能するように連携体制の再構築を図る。	報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す			

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	40人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	2人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	5.0%		
目標達成のための方策	地域生活移行が可能な対象者がいれば施設等と連携して進めていきたいが、過去の実績及び施設入所待機者もいるため、国の基本方針を下回る目標を設定している。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	40人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	38人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割合（B/A）	95.0%		
目標達成のための方策	重度障がい者の受け入れが可能なグループホーム等の整備等を働きかける。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）	39人		
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	97.5%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	39人	39人	39人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	97.5%	97.5%	97.5%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人			
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		
3ヶ月以上1年未満	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		
1年以上	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 <small>地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○保健、医療及び福祉関係者による協議の場 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 3回/年、 ・関係者の参加者数 30人/回 ・目標設定及び評価の実施回数 3回/年 ○精神障がい者 <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援利用者数 1人/年 ・地域定着支援利用者数 1人/年 ・共同生活援助利用者数 R6：35人、R7：36人、R8：37人 ・自立生活援助利用者数 1人/年 ・自立訓練（生活訓練）利用者数 R6：5人、R7：6人、R8：6人
---	---

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿				
障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能(相談支援、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的な人材の確保、地域の体制作り)を、地域の実情に応じて整備し、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築を図ることを目的とする。				

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会務体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☞ 全くできていない	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☞ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
	今後の対応等(自由記述) コメンターにて自己評価できる体制の整備	今後の対応等(自由記述) 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 全くできていない		ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
コアメンバーにて自己評価できる体制の整備		報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 全くできていない		ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
コアメンバーにて自己評価できる体制の整備		報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
今後の対応等（自由記述） コメンターにて自己評価できる体制の整備		今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
今後の対応等（自由記述） コメンターにて自己評価できる体制の整備		今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
	今後の対応等（自由記述） コアメンバーにて自己評価できる体制の整備	今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること 協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
	今後の対応等（自由記述） コアメンバーにて自己評価できる体制の整備	今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	協議会において前年度の状況報告のみ実施している	協議会において前年度の状況報告のみ実施している		
	今後の対応等（自由記述） コアメンバーにて自己評価できる体制の整備	今後の対応等（自由記述） 報告を受けて、評価を行えるよう体制の整備を目指す		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	102人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	8人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	7.8%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%		
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人		
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%		

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	102人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	7人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）	6.9%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）	2人	人	
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	2.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	2人	2人	2人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	2.0%	2.0%	2.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			
3ヶ月以上1年未満	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			
1年以上	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	
--	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
「親亡き後」を見据え、地域生活支援拠点(多機能拠点整備型)を核とし、町内の障害福祉サービス事業所や関係機関との連携により、4つの機能(相談支援機能 緊急時の受け入れ・対応 体験の機会・場の確保 専門的な人材の確保)を担う。	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
目標値	1箇所	障害福祉計画の1年目(令和6年度) 年1回	障害福祉計画の2年目(令和7年度) 年1回	障害福祉計画の3年目(令和8年度) 年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	宇城圏域による設置			1箇所
	コアメンバー(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択 <input checked="" type="radio"/> 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択 <input checked="" type="radio"/> 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	拠点事業所を中心として、登録者の現状確認を実施し、町と情報を共有している	美里町障がい者自立支援協議会において、評価とまではいかないものの、拠点の報告を行う中で様々な意見をいただいている。		
今後の対応等(自由記述)	今後の対応等(自由記述)			

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
個人ごとの連絡体制図を作成している		美里町障がい者自立支援協議会において、評価とまではいかないものの、拠点の報告を行う中で様々な意見をいただいている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
拠点事業所の対応を基本としているが、対応できない場合に備えて、町内の各事業所を協力事業所として登録している。また、基幹相談センターを介して、圏域内での対応も実施できる体制。		美里町障がい者自立支援協議会において、評価とまではいかないものの、拠点の報告を行う中で様々な意見をいただいている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
本人、家族、相談支援事業所や病院等から相談がある場合に対応している。また、計画策定のためにアンケートを実施し、町のニーズ把握を行った。		美里町障がい者自立支援協議会において、評価とまではいかないものの、拠点の報告を行う中で様々な意見をいただいている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
必要な方には場の提供を行う環境を整備している。		美里町障がい者自立支援協議会において、評価とまではいかないものの、拠点の報告を行う中で様々な意見をいただいている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	コーディネーターの配置のほか、困難事例などは基幹相談支援センターの協力を得ている。	美里町障がい者自立支援協議会において、評価とまではいかないものの、拠点の報告を行う中で様々な意見をいただいている。		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	必要に応じ個別に対応しているため、全体的に地域の体制づくりをすすめる取り組みは行えていない。	美里町障がい者自立支援協議会において、評価とまではいかないものの、拠点の報告を行う中で様々な意見をいただいている。		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	
	ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）	
	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	令和4年に拠点事業所クレドにおいて、パンフレットを作成しているが、十分な周知、広報は行えていない。		美里町障がい者自立支援協議会において、評価とまではいかないものの、拠点の報告を行う中で様々な意見をいただいている。	
	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	18人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	1人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	5.6%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	18人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	1人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）	5.6%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			
3ヶ月以上1年未満	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			
1年以上	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 <small>地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。</small>	
---	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
障がい者等の日常生活及び社会生活を支援する機関や事業所等がこれまで以上に連携することにより、障がい者等が住み慣れた地域で安心して生活できる。	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	緊急時の支援が見込めない障がい者等を事前に把握する。			
	コアメンバー(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	今後の対応等(自由記述) ・現在、拠点コーディネーターを配置しておらず、相談支援事業所が緊急時に支援が必要と見込まれる障がい者等を把握している。 ・障害福祉サービスにつながらないケースなど潜在的ニーズの掘り起こしが十分できていない。 ・把握した障がい者等の登録・名簿管理や、緊急時の受け入れ実施機関との情報共有については徹底できていない。	左に同じ		
今後の対応等(自由記述) ・拠点コーディネーターの配置について検討を行う。 ・把握した障がい者等について、市町村、拠点コーディネーター(配置後)、相談支援事業所、緊急時の受け入れ・対応実施機関と連携し、情報共有を図る場を設ける。	左に同じ			

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なコーディネートや相談その他必要な支援を提供する。				
	コメンタリー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている			
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること			
・相談支援事業所が中心となって緊急時に支援が必要と見込まれる障がい者等を把握しているが、拠点等の「相談」に関わる人材が不足している。	左に同じ				
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）				
・拠点コーディネーターの配置を検討する。 ・常時の相談体制の構築も含めたところで、「相談」に関わる人員体制の確保について検討していく。	左に同じ				
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	短期入所等を活用して常時の緊急受入体制の確保に努め、介護者の急病や障がい者等の状態の変化等に適した緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応を行う。				
	コメンタリー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）			
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない			
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること			
・緊急時の受け入れ・対応を行う機関として、グループホームと短期入所事業所を登録しているが、登録事業所において拠点等の制度の理解が十分ではないことや、受け入れ実施機関から「どんな特性があるかわからない人を急に受け入れることは難しい」といった声もあり、現状緊急的な受け入れ・対応は難しい。 ・医療的ケアが必要な障がい者等については、福祉型短期入所事業所での対応が難しく課題となっている。	左に同じ				
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）				
・緊急時の受け入れ・対応について、特別介護給付費の運用開始を検討していく。 ・緊急時の受け入れ・対応を行う機関が、常時空室として確保している部屋の数を把握する。 ・改めて拠点等に関する制度の説明・周知を圏域内の事業所に対して行い、新たに拠点等として登録してもらうよう働きかけていく。	左に加え、緊急時の受け入れ・対応を行う機関の空き状況がリアルタイムで確認できる方法について検討を行う。				

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	・地域移行支援部会において、精神科病院への長期入院患者の地域生活への移行のニーズ等を把握している。 ・精神科病院や入所施設に対して、事業の周知活動を行っている。		左に同じ	
	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	
	・引き続き、地域移行支援部会において障がい者等のニーズを把握するとともに、入所施設からの地域移行についても検討を行っている。		左に同じ	
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域移行や親元からの自立等に向けて、グループホーム等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を確保し提供する。			
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	・体験の機会・場の確保として、通所事業所やグループホームを登録しており、体験利用が可能となっている。		・体験利用が可能な施設を登録しているが、体験利用につながっていない。	
	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	
	・緊急時に支援が必要となる障がい者等の状況を踏まえ、市町村、相談支援事業所、緊急時の受け入れ・対応の実施機関と情報共有しながら、体験利用へとつなげていく。		左に加え、体験利用につながっていない原因を分析し、支援の方法を検討していく。	

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	障がい者等の支援に従事する職員のスキルを高めるとともに、医療的ケアの必要がある又は強度行動障害がある障がい者等に対して、専門的な対応ができる体制の確保や人材の養成を行う。			
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 全くできていない		ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
・専門的人材を育成する場（研修など）が不足している。		左に同じ		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
・国や県が実施する、強度行動障害や医療的なケアが必要な人等、支援が困難と見込まれる人への対応に関する研修の情報収集を行い、受講の動員を行っていく。 ・上記の研修を受講した人が取得した知識を持ち帰って広めてもらえるよう、圏域内の事業所が集まる勉強会等を企画・実施する体制を構築していく。		左に同じ		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	障がい者等が、地域で生活する際に生じる様々なニーズに対応できる地域の社会資源の提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築を行う。			
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 全くできていない		ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
・拠点コーディネーターを配置しておらず、協議会の運営会議を中心に地域の体制づくりを検討している。 ・地域のネットワークの関係性が構築できていない。		左に同じ		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
・障害福祉サービス事業所や医療機関、地域包括支援センター、民生委員・児童委員等と協力・連携し、地域ネットワークの構築を図る。 ・ネットワークを構築した関係機関と課題の共有を行っていく。 ・地域の課題解決に向けた取り組みを運営会議や協議会等で検討していく。		左に同じ		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域生活支援拠点の機能の充実を 図るため、年間1回以上の運用状 況の検証・検討を行う。			
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	・拠点等に位置づけられている事業所を市のホームページに掲載し ている。 ・年1回協議会において拠点等の運用状況の検証を行っている。	左に同じ		
	今後の対応等（自由記述） ・地域生活支援拠点等について、市・町の広報物等を通して積極的 に発信し、周知を図る。 ・地域生活支援拠点等の整備・運用に関するガイドライン《八代 市・氷川町》の内容を見直し、整備スケジュールを明確にする。 ・圏域の実情を踏まえたところで必要な機能に関して協議を行える よう、拠点等となる事業所へ定期的に状況確認を行い、運営会議で も情報共有していく。	左に同じ		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	186人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	12人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	6.5%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	186人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	10人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割合（B/A）	5.4%		
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		
3ヶ月以上1年未満	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		
1年以上	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	保健、医療、障害福祉関係者による協議の場を通じて、包括的な連携による支援体制を強化するため、協議の場（地域移行支援部会）における目標設定及び評価の実施回数を年間1回実施する。
--	---

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿				

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	避難行動要支援者リストを作成し、緊急時の対応にあたる	同左		
	今後の対応等(自由記述) 今後も把握に努める	今後の対応等(自由記述) 同左		

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
各相談事業所が連携して、緊急時の対応、受け入れ先の確保にあ たっている。		同左		
今後の対応等（自由記述） 今後も連携して対応に努める。		今後の対応等（自由記述） 同左		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の 受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
各相談事業所が連携して、緊急時の対応、受け入れ先の確保にあ たっている。		同左		
今後の対応等（自由記述） 今後も連携して対応に努める。		今後の対応等（自由記述） 同左		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目（令和6年度）できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目（令和7年度）できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目（令和8年度）できる限り数値目標も	
	圏域単位で取り組みを行っている。 主には、水俣芦北圏域障がい者総合支援協議会 地域移行支援部会で協議が行われている。				
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている			
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	水俣芦北圏域障がい者総合支援協議会 地域移行支援部会の中の医療機関側と福祉側で課題と対象者の把握について協議を行っている。		同左		
今後の対応等（自由記述） 今後もニーズの把握に努める。		今後の対応等（自由記述） 同左			
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目（令和8年度）できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目（令和7年度）できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目（令和8年度）できる限り数値目標も	
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている			
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	各相談事業所が把握したニーズに合わせたサービスの提案を行っている。		同左		
今後の対応等（自由記述） 今後もニーズに応じたサービス提案に努める。		今後の対応等（自由記述） 同左			

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	全くできていない	同左		
	今後の対応等（自由記述） まずは、基幹センター設置に向けての専門的人材の確保に努める。	今後の対応等（自由記述） 同左		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	各相談事業所が把握したニーズに合わせたサービスの提案を行っている。	同左		
	今後の対応等（自由記述） 今後もニーズに応じたサービス提案に努める。	今後の対応等（自由記述） 同左		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	拠点コーディネーターは配置していないが、市町村と各事業所の連携体制は構築されている。 地域住民に対する周知・広報を行っていない	同左		
	今後の対応等（自由記述） 現在、基幹相談支援センターの設置に向けて協議を続けているところであり、基幹相談支援センターに拠点コーディネーターの役割を担っていただきたいと考えている。	同左		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）			
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）			
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）			
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）	人	人	1人
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）			
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	1人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）			

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）			
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）			
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）			
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）			
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）			

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人
（うち）65歳以上			
3ヶ月以上1年未満	人	人	人
（うち）65歳以上			
1年以上	人	人	人
（うち）65歳以上			

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	
--	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
<p>芦北町の地域生活支援拠点等は、面的で整備しており、「緊急時の対応」「体験の機会・場の確保」「相談支援の機能」「地域の体制づくり」「専門的な人材の確保」の機能を有するものとして、その体制づくりに努めています。</p> <p>現在は、町内の全ての障害福祉関係機関の情報共有や意見交換をとおし、「緊急時の対応」「体験の機会・場の確保」の体制づくりを構築し運用しています。</p> <p>残りの「相談支援の機能」「地域の体制づくり」「専門的な人材の確保」については、基幹相談支援センター設置後に取り組んでいく予定です。</p>	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	令和2年7月豪雨災害の経験を活かし、委託型相談支援、指定特定相談支援、体制整備推進訪問員等の相談関係と連携し、緊急対応など支援が必要となる障害者の把握を年1回行っている。	-	-	20名
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等)による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑	十分できている	ブルダウン選択☑	十分できている
	様式2の評価の評価を踏まえて評価すること	様式2の評価の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	相談支援事業所の協力を得て、令和3年度から、災害等の役立てるため「緊急時対象者リスト」を作成し、警報等の際は、連絡し注意喚起などを行い、場合によっては短期入所等の促しを実施。	芦北町自立支援協議会で議題として取り上げ、各委員から意見を聴取している。		
今後の対応等(自由記述)	「緊急時対象者リスト」の年1回以上の更新。	今後の対応等(自由記述)		
		年に1回以上は、芦北町自立支援協議会で取組状況を報告する。		

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	令和2年7月豪雨災害の経験を活かし、委託型相談支援、指定特定相談支援、体制整備推進訪問員等の相談関係と連携し、緊急対応など支援が必要となる障害者の把握を年1回行っている。	-	-	20名
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 十分できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 十分できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	相談支援事業所の協力を得て、令和3年度から、災害等の役立てるため「緊急時対象者リスト」を作成し、警報等の際は、連絡し注意喚起などを行い、場合によっては短期入所等の促しを実施。	芦北町自立支援協議会で議題として取り上げ、各委員から意見を聴取している。		
今後の対応等（自由記述） 「緊急時対象者リスト」の年1回以上の更新。	今後の対応等（自由記述） 年に1回以上は、芦北町自立支援協議会で取組状況を報告する。			
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	令和2年7月豪雨災害の経験を活かし、委託型相談支援、指定特定相談支援、体制整備推進訪問員等の相談関係と連携し、緊急対応など支援が必要となる障害者の把握を年1回行っている。	-	-	20名
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	相談支援事業所の協力を得て、令和3年度から、災害等の役立てるため「緊急時対象者リスト」を作成し、警報等の際は、連絡し注意喚起などを行い、場合によっては短期入所等の促しを実施。	芦北町自立支援協議会で議題として取り上げ、各委員から意見を聴取している。		
今後の対応等（自由記述） 「緊急時対象者リスト」の年1回以上の更新。	今後の対応等（自由記述） 年に1回以上は、芦北町自立支援協議会で取組状況を報告する。			

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	圏域単位で取り組みを行っている。 主には、水俣芦北圏域障がい者総合支援協議会、地域移行支援部会で協議が行われている。	1人	1人	1人
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウ選択⇒ 一定程度できている		ブルダウ選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
地域移行対象者を圏域把握した結果、5人以下である、そのうち本町の対象者ではないため、具体的に協議を進めていない。		特になし		
今後の対応等（自由記述） 地域移行については、関係機関と連携していく中で、今後、課題意識をもって取り組んでいきたい。		特になし		
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	町内の就労継続支援事業所、生活介護事業所、共同生活援助に対し、体験の機会・場の確保を依頼している。	-	-	就労継続支援事業所 5か所 生活介護事業所 2か所 共同生活援助 3か所
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウ選択⇒ 十分できている		ブルダウ選択⇒ 十分できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
令和4年度に関係機関を参集し協議等を行い、令和5年度から運用を開始している。		芦北町自立支援協議会で議題として取り上げ、各委員から意見を聴取している。		
今後の対応等（自由記述） 定期的に関わりのある機関を参集し、運用上の課題点等を取りまとめしていく。		年に1回以上は、芦北町自立支援協議会で取組状況を報告する。		

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	特になし。	特になし。		
	今後の対応等（自由記述） 特になし。	今後の対応等（自由記述） 特になし。		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	機能毎に関わりのある機関を参 集し、取り組みを報告し、意見を 聴取。	町内障害福祉サービス等 13事業所	町内障害福祉サービス等 13事業所	町内障害福祉サービス等 13事業所
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会識体に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 十分できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 十分できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
機能毎に関わりのある機関を参集し、取り組みを報告し意見を聴取 している。		芦北町自立支援協議会で議題として取り上げ、各委員から意見を 聴取している。		
今後の対応等（自由記述） 定期的に関わりのある機関を参集し取組報告と意見を聴取する場 を設定する。		今後の対応等（自由記述） 年1回以上は、芦北町自立支援協議会で取組状況を報告する。		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	48人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	3人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	6.3%		
目標達成のための方策	入所者の状況及び障害支援区分を把握し、地域生活への以降が可能が把握していく。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）	1人	1人	1人
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	2.1%	2.1%	2.1%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	1人	2人	3人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	2.1%	4.2%	6.3%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	48人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	3人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）	6.3%		
目標達成のための方策	本町の施設入所者の現状と待機者等を動かし、施設入所者は増加すると見込み、結果、国の目標値を下回る設定としている。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）	1人	1人	1人
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	2.1%	2.1%	2.1%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	1人	2人	3人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	2.1%	4.2%	6.3%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	115人	114人	113人
3ヶ月未満（急性期）	9人	9人	9人
	（うち）65歳未満	2人	2人
	（うち）65歳以上	7人	7人
3ヶ月以上1年未満	18人	18人	18人
	（うち）65歳未満	3人	3人
	（うち）65歳以上	15人	15人
1年以上	88人	87人	86人
	（うち）65歳未満	17人	16人
	（うち）65歳以上	71人	71人

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	水保芦北圏域障がい者総合支援協議会の地域移行・定着支援部会において、地域での保健、医療、福祉等の関係者による協議の場を設置していることから、精神病床における長期入院患者の地域生活への移行を進めるシステム構築に向け、取り組みます。
--	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
障がい者の高齢化・重度化や「親なき後」を見据え、行政、障害福祉サービス事業所等の関係機関が連携し、障がい者（児）の生活を圏域全体で支える体制を構築する。圏域の10市町村が連携することにより、市町村単体では困難な障がい者（児）の地域生活支援体制を構築することができ、福祉サービスの提供体制の充実を図る。	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目(令和6年度)	障害福祉計画の2年目(令和7年度)	障害福祉計画の3年目(令和8年度)
目標値	圏域にて1箇所	圏域にて1箇所	圏域にて1箇所	圏域にて1箇所

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児（強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等）の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目(令和6年度)できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目(令和7年度)できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目(令和8年度)できる限り数値目標も
	緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児について、市町村と相談事業所等が協力して、事前把握、登録の説明・案内を実施し登録を促す。	以下を対象とした事前把握と登録・名簿管理。 ・障害福祉サービス利用者 ・障害福祉サービスを利用していない者（療育A1・A2）	以下を対象とした事前把握と登録・名簿管理。 ・障害福祉サービス利用者 ・障害福祉サービスを利用していない者（療育A1・A2、重度心身障がい者）	以下を対象とした事前把握と登録・名簿管理。 ・障害福祉サービス利用者 ・障害福祉サービスを利用していない者（療育A1・A2、重度心身障がい者、その他強度行動障害者）
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
	プルダウン選択 十分できている	プルダウン選択 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）			
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること			
・要支援者登録台帳を整備し、受付した登録申請内容を随時、各市町村及び拠点担当相談支援事業所（基幹相談支援センターが設置されるまでの間は委託相談支援事業所が担当）と情報共有している。拠点登録者数については、令和6年12月現在において30名と増加している。（令和5年2月8名、令和5年12月19名）	・令和6年11月に実施した人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会において、地域生活支援拠点等運用状況の報告を行ったが、質問・意見等の提出はなかった。			
今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）			
・サービスを利用していない要支援者候補のリストアップ化を行った。今後、個別に状況確認と情報提供、登録の促しを行う。	人吉球磨障がい者総合支援協議会の全体会にて、年1回以上は取組状況を報告し、意見を求めて、支援体制整備を図る。			

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域生活支援拠点等コーディネーターの圏域での配置整備	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所、拠点担当相談支援事業所及び市町村は、夜間休日等の連絡体制の整備。 拠点用の連絡体制図を作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所、拠点担当相談支援事業所及び市町村は、夜間休日等の連絡体制の整備。 拠点用の連絡体制図を作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所、拠点担当相談支援事業所及び市町村は、夜間休日等の連絡体制の整備。 拠点用の連絡体制図を作成。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
<ul style="list-style-type: none"> 相談の機能については、協力事業所として圏域内すべての指定特定相談支援事業所（10事業所）が登録。 令和4年6月策定のガイドラインに基づき運用している。拠点担当相談支援事業所については、基幹相談支援センターが設置されるまでの間、その役割を委託相談支援事業所が担う。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和6年11月に実施した人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会において、地域生活支援拠点等運用状況の報告を行い、意見等を求めたが、質問・意見等の提出はなかった。 		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
<ul style="list-style-type: none"> 24時間の相談体制について、関係機関と協議し、体制を確保したい。 		人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会にて、年1回以上は取組状況を報告し、意見等を求め、常時の相談体制の確保を図る		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れにあたり必要な情報を備えたフェイスシートの作成 緊急受け入れ等に対応の多い、障がい者支援施設関係の連絡会等の整備検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れにあたり必要な情報を備えたフェイスシートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れにあたり必要な情報を備えたフェイスシートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れにあたり必要な情報を備えたフェイスシートの作成 緊急受け入れ等に対応の多い、障がい者支援施設関係の連絡会等の整備検討。
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の受け入れ・対応については、短期入所事業所及び共同生活援助事業所など6事業所が登録。 令和4年6月策定のガイドラインに基づき運用している。 フェイスシート（事前登録者基本情報）の内容や必要事項について検討実施。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和6年11月に実施した人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会において、地域生活支援拠点等運用状況の報告を行い、意見等を求めたが、質問・意見等の提出はなかった。 		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
<ul style="list-style-type: none"> 稼働率が高いために緊急時の受け入れが出来ないケースや、限られた社会資源を有効活用するため、圏域内の短期入所事業所との情報・意見交換会等を通して、障害種別に関係なく受け入れを行うことができないか検討したい。 フェイスシートの更なる検討を行い、受け入れ側が必要とする要支援者情報をフェイスシートにまとめていく。 		人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会にて、年1回以上は取組状況を報告し、意見等を求め、受け入れ先の確保を図る。		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	入所施設や精神科病院からの地域移行 毎年1名	入所施設や精神科病院からの地域移行 1名 ・人吉球磨地域精神保健福祉連絡会(事務局:県振興局)の取組状況の共有 ・入所施設や精神科病院等との連携、地域移行のニーズ把握。	入所施設や精神科病院からの地域移行 1名 ・人吉球磨地域精神保健福祉連絡会(事務局:県振興局)の取組状況の共有 ・入所施設や精神科病院等との連携、地域移行のニーズ把握。	入所施設や精神科病院からの地域移行 1名 ・人吉球磨地域精神保健福祉連絡会(事務局:県振興局)の取組状況の共有 ・入所施設や精神科病院等との連携、地域移行のニーズ把握。	
	コアメンバー(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	・地域移行のニーズ把握については、相談機能の人吉球磨圏域の相談支援事業所(10事業所)が主に担っており、特に、一般相談支援事業所(1事業所)の役割は大きいと考える。 ・人吉球磨相談支援事業所連絡会において、現在入所者の地域移行ニーズ把握のため、情報共有を行った。		・令和6年11月に実施した人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会において、地域生活支援拠点等運用状況の報告行い、意見等を求めたが、質問・意見等の提出はなかった。		
	今後の対応等(自由記述)		今後の対応等(自由記述)		
	・入所施設及び精神科病院等からの地域移行ニーズ把握に努める。 ・「人吉球磨障がい者支援総合支援協議会」や「人吉球磨地域精神保健福祉連絡会」の中でニーズ把握に関する協議の場の設置に向けて取り組んでいく必要がある。		人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会にて、年1回以上は取組状況を報告し、意見等を求め、ニーズの把握活動を図る。		
	(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
・要支援者の利用目的に応じた体験利用への結びつけ(担当の相談支援専門員は、要支援者の利用目的に応じたグループホームの体験利用、通所事業所の体験利用など) ・緊急時に利用する見込みのある事業所の見学や体験への結びつけ		・要支援者の利用目的に応じた体験利用への結びつけ(担当の相談支援専門員は、要支援者の利用目的に応じたグループホームの体験利用、通所事業所の体験利用など) ・緊急時に利用する見込みのある事業所の見学や体験への結びつけ	・要支援者の利用目的に応じた体験利用への結びつけ(担当の相談支援専門員は、要支援者の利用目的に応じたグループホームの体験利用、通所事業所の体験利用など) ・緊急時に利用する見込みのある事業所の見学や体験への結びつけ	・要支援者の利用目的に応じた体験利用への結びつけ(担当の相談支援専門員は、要支援者の利用目的に応じたグループホームの体験利用、通所事業所の体験利用など) ・緊急時に利用する見込みのある事業所の見学や体験への結びつけ	
コアメンバー(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)			
充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている			
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること			
現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること			
・体験の機会・場の提供については、共同生活援助事業所及び生活介護事業所・就労系事業所など29事業所が登録。 ・令和4年6月策定のガイドラインに基づき運用している。 ・人吉球磨相談支援事業所連絡会にて、計画的な体験利用等を含めて当該事業に対する共通理解・認識を図る取り組みが行われている。		・令和6年11月に実施した人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会において、地域生活支援拠点等運用状況の報告行い、意見等を求めたが、質問・意見等の提出はなかった。			
今後の対応等(自由記述)		今後の対応等(自由記述)			
・担当の相談支援専門員を通じて、要支援者の利用目的に応じた体験利用に結びつける。 ・体験の機会・場の提供を担う協力事業所との連携を図る。		人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会にて、年1回以上は取組状況を報告し、意見等を求め、ニーズの把握活動に活かす。			

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	・圏域で基幹相談支援センター1 箇所設置。 ・圏域で医療的ケア児等コーディネ ーターの1人配置	・専門性を高めるための人材養成 (各研修等への積極参加を各事業 所へ促す) ・基幹相談支援センター設置を見 据えた人材確保と圏域協議 ・医療的ケア児等コーディネ ーターの配置に向けた協議	・専門性を高めるための人材養成 (各研修等への積極参加を各事業 所へ促す) ・基幹相談支援センター設置を見 据えた人材確保と圏域協議 ・医療的ケア児等コーディネ ーターの配置に向けた協議	・圏域で基幹相談支援センター1 箇所設置。 ・圏域で医療的ケア児等コーディネ ーターの1人配置
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
	ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）		
	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	・専門的人材の確保・養成については、生活介護事業所、特定相談 支援事など9事業所が登録。 ・委託相談支援事業所では、全3事業所に主任相談支援専門員1人 ずつの配置。 ・基幹相談支援センター設置検討部会で協議を重ねてきたが、基幹 相談支援センター業務に携わる人材確保等の課題からセンター設置 目標を令和8年度末までと修正した。 ・医療的ケア児等コーディネーターの配置について、圏域で協議を 行った。	・令和6年11月に実施した人吉球磨障がい者総合支援協議会全体 会において、地域生活支援拠点等運用状況の報告行い、意見等を求 めたが、質問・意見等の提出はなかった。		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		
・医療的ケアが必要な者や強度行動障害などに対応できる人材養成 のため、熊本県や各種団体等から提供される研修等の受講推奨を行 う。	人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会にて、年1回以上は取組状 況を報告し、意見等を求め、専門的な人材の養成を図る。			
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生 活のニーズを踏まえた地域の体制 づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	協議会の地域生活支援拠点等運用 協議部会にて、運用見直しを適切 に実施。	協議会の地域生活支援拠点等運用 協議部会にて、運用見直しを適切 に実施。 適宜、行政及び相談事業所等で情 報共有と課題確認。	協議会の地域生活支援拠点等運用 協議部会にて、運用見直しを適切 に実施。 適宜、行政及び相談事業所等で情 報共有と課題確認。	協議会の地域生活支援拠点等運用 協議部会にて、運用見直しを適切 に実施。
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価	協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
	ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）		
	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	・地域の体制づくりについては、相談支援事業所及び生活介護事業 所等の13事業所が登録しており、増加なし。	・令和6年11月に実施した人吉球磨障がい者総合支援協議会全体 会において、地域生活支援拠点等運用状況の報告行い、意見等を求 めたが、質問・意見等の提出はなかった。		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		
・地域課題として整理した事項については、課題解決のための具体 的な取り組みを協議し、拠点機能の強化に努める。 ・地域に点在している機能を最大限に活用する取り組みを検討して いく。	人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会にて、年1回以上は取組状 況を報告し、意見等を求め、地域生活の安心感を担保する機能構築 を図る。			

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	圏域にて地域生活支援拠点等に関する周知	<ul style="list-style-type: none"> 圏域市町村ホームページ掲載 圏域市町村広報誌の掲載(年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 圏域市町村ホームページ掲載(継続) 圏域市町村広報誌の掲載(年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 圏域市町村ホームページ掲載(継続) 圏域市町村広報誌の掲載(年1回)
コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価		協議会等の会連体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない)		充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない)		
ブルダウン選択⇒ 十分できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価(自由記述)		現状・課題に係る評価(自由記述)		
中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
<ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員による制度周知。 市町村ホームページだけでなく、市町村広報誌でも地域生活支援拠点と事前登録申請に関する情報を掲載し、周知を図った。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和6年11月に実施した人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会において、地域生活支援拠点等運用状況の報告を行い、意見等を求めたが、質問・意見等の提出はなかった。 		
今後の対応等(自由記述)		今後の対応等(自由記述)		
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携において、基幹相談支援センターが設置されるまでの間は、委託相談支援事業所に基幹的な役割を担っていただきつつ、行政とともに主体的に取り組を進める。 圏域の強みを活かし、部会構成員から各評価指標の担当を割り振り、共通理解のもと主体的・着実な取り組みを図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 人吉球磨障がい者総合支援協議会全体会にて、年1回以上は取組状況を報告し、意見等を求め、理解促進を図る。 		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	59人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	4人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	6.8%		
目標達成のための方策	地域へ移行した障がい者が地域で安心して生活できるよう、居住環境の整備やサービスの提供体制の確保に努める。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	59人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	3人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割合（B/A）	5.1%		
目標達成のための方策	地域へ移行した障がい者が地域で安心して生活できるよう、居住環境の整備やサービスの提供体制の確保に努める。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人			
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		
3ヶ月以上1年未満	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		
1年以上	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	精神障がい者の地域移行支援 ：令和6年1名、令和7年1名、令和8年1名 保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数（回） ：令和6年3回、令和7年3回、令和8年3回
--	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿	
障がいがあっても、地域で生活することを選択できる地域づくり	

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
目標値	1箇所	障害福祉計画の1年目(令和6年度) 年1回	障害福祉計画の2年目(令和7年度) 年1回	障害福祉計画の3年目(令和8年度) 年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標					
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目(令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目(令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目(令和8年度) できる限り数値目標も	
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等)による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)			
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☑ 一定程度できている			
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年1月末現在、地域生活支援拠点等事業の事前登録者5名(障がい福祉サービス未利用者)。うち1名が今年度短期入所を利用。 医療的ケア児の把握は年1回行政4課で行っており、避難行動要支援者名簿に搭載。拠点の登録も検討が必要。さらに、強度行動障がい者や医療的ケアが必要な重症心身障がい者の事前把握を進めていく必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 全体会や定例会で事前登録状況等の報告を実施。特に質問・意見なし。 事前登録制の整備については、一定の評価を受けている。 		
	今後の対応等(自由記述) ・事業の周知 ・登録者の情報更新 ・強度行動障がい児・者、医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者の事前把握		今後の対応等(自由記述) ・事業の周知 ・事前把握・登録者の増加		

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンパー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	・令和7年1月末現在、拠点として届出ている相談支援事業所は9事業所/13事業所中、昨年度より1事業所増加。 ・市内4箇所の基幹相談支援センターが24時間相談を受付。 ・計画相談支援等既利用者は特定相談支援事業所等が、未利用者は基幹相談支援センターが相談対応を行う体制を整備している。	・相談体制が整ってきたことに一定の評価は得ている。		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		
	・地域生活支援拠点等として未登録の事業所（相談支援専門員1名配置の事業所が多い）への協力依頼。	・登録事業所の増加		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンパー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価	協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	・居室確保事業にて緊急時の居場所を2か所確保。 ・令和5年6月より市内全ての短期入所事業所の協力を得て、「緊急時の受入・対応」の運用開始。 ・	・居室確保と併せて、市内全ての短期入所事業所の協力を得て体制を整備したことに一定の評価を得ている。		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		
	・強度行動障がい児・者、医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者等への制度周知と事前登録のすすめ	・制度周知による活用促進		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会専門部会（精神障がい者支援部会）において、精神科病院からの地域移行のニーズを把握。部会では、地域移行の事例の共有や、各精神科病院において地域移行の取組推進のための職員研修を企画。保健所のより積極的な関与を求めたい。 ・施設からの地域移行のニーズについては、昨年度施設職員の視点で地域移行が可能と思われる人数を把握しており、今年度の自立支援協議会居住班活動（入所施設・GH事業所の集まり）において、地域移行の実践事例の共有や地域移行できそうなケースの事例検討を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行の促進に向けて、精神科病院や入所施設が具体的な取組を始めたことに一定の評価を得ている。 	
	今後の対応等（自由記述） <ul style="list-style-type: none"> ・精神科病院職員への地域移行取組推進のための研修実施 ・自立支援協議会居住班活動における地域移行に関する事例検討の実施 		今後の対応等（自由記述） <ul style="list-style-type: none"> ・制度や社会資源の周知による地域移行の推進 	
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしに向けた体験の場（居室確保事業）は確保できているが、本目的での利用実績はない。 ・体験利用のニーズと実績を把握する仕組みがないため、その整備が必要。 			
	今後の対応等（自由記述） <ul style="list-style-type: none"> ・居室確保事業や各サービスの体験利用の周知により活用を図る ・体験利用のニーズと実績把握のための仕組みづくり 		今後の対応等（自由記述） <ul style="list-style-type: none"> ・体験利用のニーズと実績の把握方法の検討 	

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	・令和5年度から医療的ケア児コーディネーターを全基幹相談支援センターに配置（4名）。令和6年度は医療的ケア児看護師養成研修を市主催で実施。 ・今後は医療的ケア者や強度行動障がい児・者支援に係る人材育成が必要	・医療的ケア児に関しては体制整備が進んでいることに一定の評価を得ている。		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		
	医療的ケア者や強度行動障がい児・者の支援体制について、自立支援協議会で検討	医療的ケア者や強度行動障がい児・者の支援体制について、自立支援協議会で検討		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等）による自己評価	協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	・市内4箇所の基幹相談支援センターに拠点コーディネーターを配置。拠点コーディネーターの支援のもと、自立支援協議会専門部会や居住班活動で地域移行に関する事例検討等を実施。 ・基幹相談支援センターの機能強化により、自立支援協議会が活性化しており、地域課題解決に向けた機運が高まっている。 ・拠点の登録事業所は増えたが、機能の充実が必要。	・基幹相談支援センターの機能強化及び自立支援協議会の活性化については一定の評価を得ている。		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		
	・拠点登録事業所の連携会議の開催	・拠点の機能充実のための取組推進		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会費に加入している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 十分できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 一定程度できている 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること ・市ホームページや障がい福祉サービスガイドブックへの掲載、周知用リーフレットの作成を行っている。	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること ・市民への更なる周知が課題		
	今後の対応等（自由記述） ・対象者の事前把握と併せて市民への周知を継続する。	今後の対応等（自由記述） ・市民への周知		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	314人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	7人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	2.2%		
目標達成のための方策	自立支援協議会居住班において、地域移行の成功事例の共有や事例検討等を実施し、地域移行の推進を図る。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	314人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	16人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割合（B/A）	5.1%		
目標達成のための方策	自立支援協議会居住班において、地域移行の成功事例の共有や事例検討等を実施し、地域移行の推進を図る。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）			
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人			
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		
3ヶ月以上1年未満	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		
1年以上	人	人	人			
				（うち）65歳未満		
				（うち）65歳以上		

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	協議の場の開催回数：3回/年 協議の場の参加人数：10人 協議の場における目標設定および評価の実施回数：1回/年 地域移行支援利用者数：1人/月 地域定着支援利用者数：10人/月 共同生活援助利用者数：33人/月 自立生活援助利用者数：1人/月 生活訓練利用者数：31人/月
--	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿				
障がいがあっても自ら選んだ場所で暮らしていけるよう、障がい者等の重度化・高齢化及び「親亡き後」を見据え、自立に関する相談、緊急時の受け入れ施設の確保、コーディネーター配置等の人材育成を図り、地域の体制づくりを進めます。				

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所	年1回	年1回	年1回

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標				
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	要支援者の事前把握及び管理体制の整備	地域防災計画に基づく要支援者の把握のうち障害者については、身体障害者手帳の体幹・上下肢1～3級、視覚聴覚1～2級、療育手帳A1及びA2、精神手帳1級所持者、難病患者、市長が支援を必要と認めた人(医療的ケア児等)の対象者について同意があった場合には、登録、名簿管理、個別支援計画の作成、関係機関との情報共有を行っている。		
	コアメンバー(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理官等)による自己評価	協議会等の会館体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☞ 一定程度できている	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択☞ 一定程度できている		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	地域防災計画に基づく要支援者の範囲になっていない障害者のうち透析患者等については別途手帳情報から把握する。	・全体会や定例会で事前登録状況等の報告を実施。特に質問・意見なし。 ・事前登録制の整備については、一定の評価を受けている。		
今後の対応等(自由記述) 要支援者に対する緊急時の対応ができるよう、災害時の避難支援について防災訓練等への参加を実施していく。	今後の対応等(自由記述) ・事業の周知 ・事前把握・登録者の増加			

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	相談支援事業において24時間体制で実施し、緊急時に対応する	緊急時、随時の相談対応は行っているが把握したケース管理ができる体制をとれていない。前年度に医ケア児のコーディネーターを1名確保済。(市の委託相談支援専門員)また、地域の医療的ケア児体制会議時に緊急時の対応について協議を行った。		
コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等)による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
形式的整備にとどまり実働できていないため、拠点等としての「相談」を行う実施機関を位置付け、周知し、常時の連絡体制の確保を行う必要がある。		・相談体制が整ってきたことに一定の評価は得ている。		
今後の対応等(自由記述) 相談実施機関と意識の共有を図り、常時の連絡体制の確保方法、対象者の範囲等について整理する。		・登録事業所の増加		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	福祉避難所の設置は5箇所のみ	福祉避難所の設置は5箇所のみ		
コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等)による自己評価		協議会等の会費体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
避難行動要支援者名簿を活用した避難支援について形式的整備はできているが、実際の緊急時にスムーズに受け入れ体制が行える状態までにはなっていない。また、関係者間における共有まで至っていない。また、受け入れ先の開拓等も必要。		・居室確保と併せて、市内全ての短期入所事業所の協力を得て体制を整備したことに一定の評価を得ている。		
今後の対応等(自由記述) 緊急時の該当基準等を整理し、マニュアルやフローチャートの共有を図る。同時に、日常的な把握・関りを持つことで、緊急時の受け入れ・対応となる場面を減らす取り組みを行う。		・制度周知による活用促進		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域移行のニーズを把握し、各関係機関と連携し、障がい者等の地域移行を進める。	ニーズ把握及び対象者名簿の作成には至っていない。		
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳続の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳続の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
自立支援協議会精神部会によるニーズ調査が実施されたが、圏域3医療機関に対して、施設入所者に係るニーズ把握には至っていない。	・地域移行の促進に向けて、精神科病院や入所施設が具体的な取組を始めたことに一定の評価を得ている。			
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
自立支援協議会精神部会から情報提供を受けニーズ把握を行う。施設入所者については、サービス更新等の調査時にあわせて聞き取りを行う等ニーズを把握する。		・制度や社会資源の周知による地域移行の推進		
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	圏域で1か所を確保しており、新規事業所を確保していく。	圏域で1か所。新規事業所の開拓は出来ていない。 周知も行っていない。		
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		ブルダウン選択⇒ 全くできていない		
様式2の詳続の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳続の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
宿泊体験等の事業については委託により実施しているが、利用実績はない。				
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
事業内容の周知を行う。		・体験利用のニーズと実績の把握方法の検討		

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	専門性の確保に向けて、研修会等の周知を随時行っていく。事業所間の意見交換の場を設け、知識の習得を行う。	専門的な人材の確保・養成のニーズの把握ができていない。県からの研修等周知依頼について、所管の事業所に情報提供を行っている状況。		
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 全くできていない		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳続の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳続の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
専門的な人材の確保・養成のニーズの把握ができていない。県からの研修等周知依頼について、所管の事業所に情報提供を行っている状況。		・医療的ケア児に関しては体制整備が進んでいることに一定の評価を得ている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
拠点等が備えるべき機能及び相談支援体制の充実強化に資するため、引き続き研修等の情報提供及び受講の勧奨を行う。		医療的ケア者や強度行動障がい児・者の支援体制について、自立支援協議会で検討		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域生活のニーズを把握し、必要な体制を構築していく。	ニーズ把握に至っていない。		
コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理運営等）による自己評価		協議会等の会員体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
ブルダウン選択⇒ 全くできていない		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている		
様式2の詳続の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳続の評価を踏まえて評価すること		
現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）		
中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
地域移行の事例が少ないこともあり、連携会議等の実施及び対応できた事例や対応しきれなかった事例、地域課題についての共有ができていない。		・基幹相談支援センターの機能強化及び自立支援協議会の活性化については一定の評価を得ている。		
今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
他自治体における事例を参考に、対応できることや対応できないこと、地域課題の共有を行い、地域内障害福祉サービス等事業所の連携や支援に関する協議、法定サービス以外の社会資源との協力体制の整備等を行う。		・拠点の機能充実のための取組推進		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	地域生活拠点等について、住民 周知を行い、各関係機関と連携し 体制構築を行う。	周知については、未実施。		
	コアメンバー（協働主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会議体に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	
	ブルダウン選択⇒ 全くできていない		ブルダウン選択⇒ 一定程度できている	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	
	現状・課題に係る評価（自由記述）		現状・課題に係る評価（自由記述）	
	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	
	面的整備型として整備することとしているが、形式的な整備にとど まり実動できていない。		・市民への更なる周知が課題	
	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）	
	拠点等の各機能に位置付けられる事業所等と、拠点等の役割につい て共有し、地域の住民に対して拠点等の存在、役割を広報周知す る。		・市民への周知	

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	74人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）	5人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）	6.8%		
目標達成のための方策	本市では精神科専門医療機関がないため、自立支援協議会及び天草地域精神保健福祉連絡協議会との連携強化に努める。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）	人		
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）	74人		
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）	5人		
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）	6.8%		
目標達成のための方策	天草地域自立支援協議会精神障害者支援部会の活動の中で、圏域の精神病院の医療関係者に対して勉強会を行い、福祉分野での地域移行への周知を行った。また入院患者に対してアンケート調査をし、退院希望者の把握等を行った。		
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）	人		
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）	0.0%	0.0%	0.0%
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）	0.0%	0.0%	0.0%

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		
3ヶ月以上1年未満	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		
1年以上	人	人	人
	（うち）65歳未満		
	（うち）65歳以上		

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	第7期上天草市障がい福祉計画の目標値は 保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数 1回/年 地域移行支援事業の利用者数 1人/年 地域定着支援事業の利用者数 1人/年 共同生活援助事業の利用者数 1人/年 自立生活援助事業の利用者数 1人/年 自立訓練（生活訓練）の利用者数 1人/年
--	--

貴市町村の地域生活支援拠点等の目指している姿				

第7期障害福祉計画	(令和6年度～令和8年度)における地域生活支援拠点等の目標について			
	令和5年度末の 地域生活支援拠点整備数	運用状況の検証・検討回数		
		障害福祉計画の1年目 (令和6年度)	障害福祉計画の2年目 (令和7年度)	障害福祉計画の3年目 (令和8年度)
目標値	1箇所			

障害福祉計画の1年目 地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価に係る総括

地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標					
(a) 【要支援者の事前把握及び体制】 緊急対応など支援が必要となる障害者・障害児(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)の事前把握・登録・名簿管理、関係機関との情報共有	【要支援者の事前把握】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	コメンター(整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等)による自己評価		協議会等の会費に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価(協議会等による評価)		
	充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) プルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度(十分できている/一定程度できている/全くできていない) プルダウン選択⇒ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価(自由記述) 中間目標(障害福祉計画の1年目)を踏まえて評価すること		
	今後の対応等(自由記述)		今後の対応等(自由記述)		

(b) 【相談機能】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時を含む相談体制の確保	【相談機能】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない			
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
(c) 【緊急時の受け入れ・対応】 把握した緊急対応など支援が必要な障害者・障害児からの緊急時の受け入れ先の確保	【緊急時の受け入れ・対応】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	コメンター（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない			
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		

(d) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握	【地域移行のニーズ把握】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
	プルダウン選択⇒ 全くできていない	プルダウン選択⇒ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）		
	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		
(e) 【体験の機会・場の確保】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	【体験の機会・場】の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）	
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない）		
	プルダウン選択⇒ 全くできていない	プルダウン選択⇒ 全くできていない		
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述）	現状・課題に係る評価（自由記述）		
	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		

(f) 【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	【専門的人材の確保・養成】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		
(g) 【地域の体制づくり】 把握した障害者・障害児の地域生 活のニーズを踏まえた地域の体制 づくりの実施	【地域の体制づくり】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も	
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活 支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価		協議会等の会構体に参加している障害者等や家族、地域の関係者など による評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない		充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） ブルダウン選択⇒ 全くできていない	
	様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	今後の対応等（自由記述）		今後の対応等（自由記述）		

地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

(h) 【拠点等の運営状況】 地域住民に対する周知・広報なら びに関係機関との連携体制の構築	【拠点等の運営状況】 の整備や運用に関する目標 目指している姿・目標	障害福祉計画の1年目 (令和6年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の2年目 (令和7年度) できる限り数値目標も	障害福祉計画の3年目 (令和8年度) できる限り数値目標も
	コアメンバー（整備主体である市町村の担当者や拠点コーディネーター、地域生活支援拠点等に位置付けられている機関の管理者等）による自己評価	協議会等の会館体に参加している障害者等や家族、地域の関係者などによる評価（協議会等による評価）		
	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） プルダウン選択⇒ 全くできていない 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること	充足度（十分できている/一定程度できている/全くできていない） プルダウン選択⇒ 全くできていない 様式2の詳細の評価を踏まえて評価すること		
	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること	現状・課題に係る評価（自由記述） 中間目標（障害福祉計画の1年目）を踏まえて評価すること		
	今後の対応等（自由記述）	今後の対応等（自由記述）		

備考欄：地域生活への移行に関する第7期障害福祉計画の成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活への移行者数（国の指針：令和4年度末施設入所者の6%以上）

（灰色部分にご記入ください）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）			
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の地域生活移行者数（B）			
令和4年度末時点の施設入所者のうち、地域生活移行者の割合（B/A）			
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】地域生活移行者数（C）			
【実績値】地域生活移行者数の割合（C/A）			
【実績値】地域生活移行者数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】地域生活移行者数の累積値に占める割合（D/A）			

令和4年度末時点と比較した施設入所者の減少数（国の指針：令和4年度末施設入所者の5%以上削減）

令和4年度（2022年度）末時点の施設入所者数（A）			
【目標値】令和8年度（2026年度）末時点の施設入所者の減少見込数（B）			
令和4年度末時点の施設入所者のうち、施設入所者の減少見込の割（B/A）			
目標達成のための方策			
	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
【実績値】施設入所者の減少数（C）			
【実績値】施設入所者の減少割合（C/A）			
【実績値】施設入所者の減少数の累積値（D）	人	人	人
【実績値】施設入所者の減少数の累積値に占める割合（D/A）			

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

630調査	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
精神病床における急性期・回復期・慢性期入院患者数（合計）	人	人	人
3ヶ月未満（急性期）	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			
3ヶ月以上1年未満	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			
1年以上	人	人	人
	（うち）65歳未満		
（うち）65歳以上			

実績値の記入方法

- インターネットで「リムラッド」を検索し、ReMHRAD - 地域精神保健福祉資源分析データベース (<https://remhrad.jp/>) にアクセスする。
- トップページで「在・退院者の状況」>「在院」を選択。都道府県を選択し、「自治体を指定」で自治体を選択する。
- 「年齢区分」で65歳未満/65歳以上、入院期間をそれぞれ選択すると各期間での入院者数が示される。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」についての目標値等 地域移行支援給付目標値、協議の場の開催回数等、貴自治体の目標内容を記載してください。	
--	--